令和９年度

# 学 生 募 集 要 項

一般選抜［ 前期日程・後期日程 ］

三 重 大 学

## 自然災害や人為災害，感染症の全国的な拡大等の不測の事態への対応について

学生募集要項に記載のある出願期間，試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。

変更がある場合は，本学受験生応援サイトにて掲載します。

〈URL〉 https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/

一般選抜に関する入試データ　https://www.mie-u.ac.jp/exam/data/general/

# 目　　次

三重大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） …… 1
入学者選抜の概要 …… 1
三重大学入試情報の案内 …… 1

**Ⅰ　各学部に共通する事項**

１．入学定員（募集人員） …… 2
２．個別学力検査等の実施日程（前期日程，後期日程） …… 3
３．出願資格等 …… 5
４．過年度の大学入学共通テスト成績 …… 5
５．出願手続 …… 5
６．出願上の注意事項 …… 14
７．「入試過去問題活用宣言」への参加について …… 14
８．障害等のある入学志願者との事前相談について …… 14
９．受験票及び受験案内について …… 16
10. 受験に際しての注意事項（共通的な事項） …… 16
11. 不正行為の取扱いについて …… 17
12. 個別学力検査等の試験場 …… 18
13. 受験時の宿泊案内 …… 21
14. 合格発表 …… 21
15. 入学手続 …… 22
16. 入学料・授業料の減免，奨学金及び徴収猶予等 …… 23
17. 追加合格，欠員補充第２次募集 …… 24
18. 一般選抜実施状況 …… 24
19. 入試成績の開示について …… 25
20. その他 …… 26
21. 個人情報の利用目的について …… 26
22. ノートパソコンの必携化 …… 26

**Ⅱ　学部別の事項**

１　人文学部　　【前期日程，後期日程】 …… 27
２　教育学部　　【前期日程，後期日程】 …… 32
３　医学部　　【前期日程，後期日程】 …… 45
４　工学部　　【前期日程，後期日程】 …… 54
５　生物資源学部【前期日程，後期日程】 …… 63
６　大学入学共通テスト，個別学力検査の利用教科・科目，配点等に関する注意事項 …… 68

## 三重大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

三重大学は，本学の一員となって学び続ける意欲を持つ，次のような学生を求めます。

●入学後の修学に必要な基礎的知識と技能を有している（知識・技能）

●ものごとを多様な視点から捉え，論理的に考えることができる（思考力・判断力）

●自分の考えを的確に表現し，伝えることができる（表現力）

●人や自然に対して関心を持ち，社会に貢献したいという意欲を有している（主体性）

●他の人と相互理解を図り協力して，新しい課題に積極的に挑戦しようとする態度を有している（協働性，主体性，多様性）

上記の方針に基づき，学部ごとに適切な選抜方法を定め，実施します。

## 入学者選抜の概要

| 区　分 | 出願期間 | 試　験　日 | 合格発表 | 合格通知書，入学手続要項発送 | 入　学　手　続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期日程 | １月25日(月)<br>～<br>２月３日(水) | ２月25日(木)，<br>２月26日(金)<br>「注１」 | ３月９日(火)<br>15時頃 | ３月９日(火) | 【郵送（簡易書留・速達）の場合】<br>３月９日(火) ～ 12日(金)　17時必着<br>【持参の場合】<br>３月15日(月)<br>10時～17時 |
| 後期日程 | | ３月12日(金) | ３月23日(火)<br>15時頃 | ３月23日(火) | 【郵送（簡易書留・速達）の場合】<br>３月23日(火)～26日(金)　17時必着<br>【持参の場合】<br>３月27日(土)　10時～17時 |

「注１」２月25日(木)は全学部，２月26日(金)は医学部のみ試験を行います。

## 三重大学入試情報の案内

■本学ウェブサイト　〈URL〉https://www.mie-u.ac.jp/

「受験生応援サイト」(〈URL〉https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/) において，以下の情報等をお知らせしています。

○学生募集要項
○インターネット出願
○過去の入試問題，解答例及び出題意図（一般選抜）
○出願状況，２段階選抜実施状況（医学科のみ），合格発表，追加合格及び欠員補充第２次募集
○入試実施状況，入試関係統計資料
○オープンキャンパス，進学相談会等の各種イベント案内
○入試に関するＱ＆Ａ
○資料請求方法

■スマートフォン・携帯電話サイト

資料の請求方法，志願状況速報，合格発表などの各種情報を閲覧することができます。

〈URL〉https://daigakujc.jp/mie-u/

# Ⅰ　各学部に共通する事項

## 1．入学定員（募集人員）

| 学部 | 学科・コース | | 入学定員 | 募集人員 | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 一般選抜 | | 総合型選抜 | | 学校推薦型選抜 | | 帰国生徒 | 社会人 | |
| | | | | 前期日程 | 後期日程 | 総合Ⅰ | 総合Ⅱ | 推薦Ⅰ | 推薦Ⅱ | | | |
| 人文学部 | 文化学科 | | 92 | 67 | 16 | 7 | | | | 1 | 1 | 「注1」「注2」参照 |
| | 法律経済学科 | | 153 | 100 | 33 | 5 | | 13 | | 1 | 1 | |
| | 計 | | 245 | 167 | 49 | 12 | | 13 | | 2 | 2 | |
| 医学部 | 医学科 | | 125 | 70 | 10 | | 5 | | 40 | | | 「注1」「注3」「注4」参照 |
| | 看護学科 | | 80 | 50 | | 5 | | | 25 | | | |
| | 計 | | 205 | 120 | 10 | 5 | 5 | | 65 | | | |
| 工学部 | 総合工学科 | 機械工学コース | 85 | 45 | 20 | | 5 | 5 | 10 | | | 「注1」「注7」参照<br>※各コースの入学定員は配属目安と読み替えてください。 |
| | | 電気電子工学コース | 70 | 32 | 25 | 8 | | 5 | | | | |
| | | 電子情報工学コース | 40 | 18 | 14 | | | 8 | | | | |
| | | 応用化学コース | 96 | 40 | 46 | 10 | | | | | | |
| | | 建築学コース | 44 | 34 | 10 | | | | | | | |
| | | 情報工学コース | 95 | 60 | 25 | | 5 | | 5 | | | |
| | | 計 | 430 | 229 | 140 | 18 | 10 | 18 | 15 | | | |
| 生物資源学部 | 生物資源学科 | 生物資源総合科学コース | 30 | 15 | | 15 | | | | | | 「注1」「注2」「注6」参照<br>※各コースの入学定員は配属目安と読み替えてください。 |
| | | 農林環境科学コース | 110 | 53 | 28 | | | 7 | 18 | 2 | 2 | |
| | | 海洋生物資源学コース | 45 | 25 | 10 | | | 2 | 6 | 1 | 1 | |
| | | 生命化学コース | 75 | 41 | 10 | | | 2 | 20 | 1 | 1 | |
| | | 計 | 260 | 134 | 48 | 15 | | 11 | 44 | 4 | 4 | |

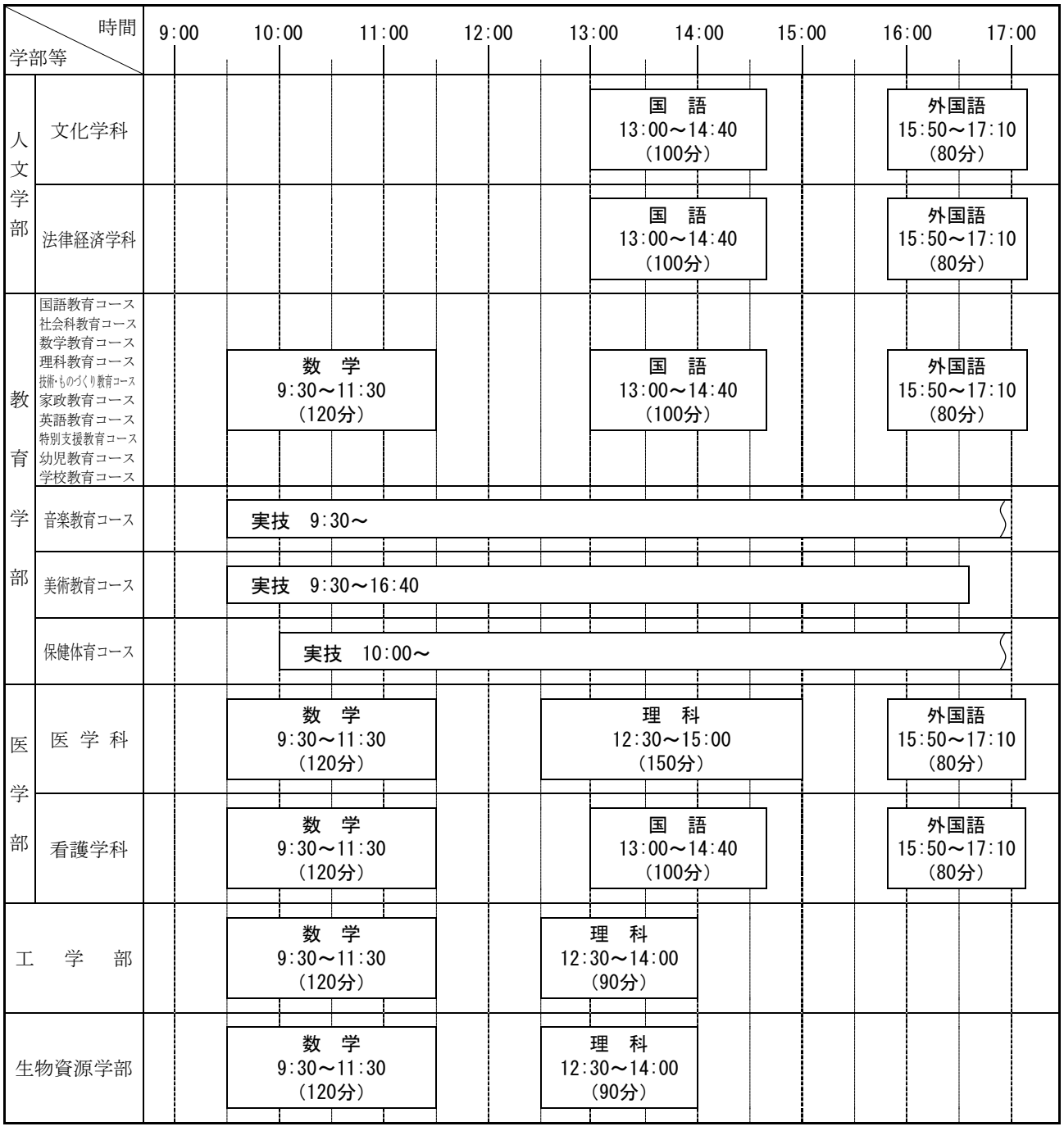
| 学部 | 課程・コース・選修 | | | 入学定員 | 募集人員 | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 一般選抜 | | 総合型選抜 | | 学校推薦型選抜 | | 帰国生徒 | 社会人 | |
| | | | | | 前期日程 | 後期日程 | 総合Ⅰ | 総合Ⅱ | 推薦Ⅰ | 推薦Ⅱ | | | |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程 | 国語教育コース | 初等教育選修 | 23 | 11 | 3 | | | | 「注5」 | | | 「注1」参照 |
| | | | 中等教育選修 | | 7 | 2 | | | | | | | |
| | | 社会科教育コース | 初等教育選修 | 17 | 8 | 2 | | | | 「注5」 | | | |
| | | | 中等教育選修 | | 5 | 2 | | | | | | | |
| | | 数学教育コース | 初等教育選修 | 21 | 11 | | | | | 「注5」 | | | |
| | | | 中等教育選修 | | 10 | | | | | | | | |
| | | 理科教育コース | 初等教育選修 | 19 | 10 | | | | | 「注5」 | | | |
| | | | 中等教育選修 | | 9 | | | | | | | | |
| | | 音楽教育コース | 初等教育選修 | 10 | 7 | | | | | 「注5」 | | | |
| | | | 中等教育選修 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | | 美術教育コース | 初等教育選修 | 9 | 6 | | | | | 「注5」 | | | |
| | | | 中等教育選修 | | 1 | | 2 | | | | | | |
| | | 保健体育コース | 初等教育選修 | 17 | 9 | | | | | 「注5」 | | | |
| | | | 中等教育選修 | | 6 | | 2 | | | | | | |
| | | 技術・ものづくり教育コース | 初等教育選修 | 10 | 5 | | | | | 「注5」 | | | |
| | | | 中等教育選修 | | 5 | | | | | | | | |
| | | 家政教育コース | 初等教育選修 | 13 | 5 | | | | | 3「注5」 | | | |
| | | | 中等教育選修 | | 5 | | | | | | | | |
| | | 英語教育コース | 初等教育選修 | 13 | 6 | | | | | 「注5」 | | | |
| | | | 中等教育選修 | | 7 | | | | | | | | |
| | | 特別支援教育コース | | 18 | 11 | 7 | | | | 「注5」 | | | |
| | | 幼児教育コース | | 10 | 10 | | | | | 「注5」 | | | |
| | | 学校教育コース | 教育学専攻 | 20 | 7 | | | | 3 | 「注5」 | | | |
| | | | 教育心理学専攻 | | 7 | | | | 3 | 「注5」 | | | |
| | 計 | | | 200 | 170 | 16 | 5 | | 6名+若干名「注5」 | 3名+若干名「注5」 | | | |

| 合計 | 入学定員 | 募集人員 | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 一般選抜 | | 総合型選抜 | | 学校推薦型選抜 | | 帰国生徒 | 社会人 | |
| | | 前期日程 | 後期日程 | 総合Ⅰ | 総合Ⅱ | 推薦Ⅰ | 推薦Ⅱ | | | |
| | 1340 | 820 | 263 | 55 | 15 | 48 | 127「注5」 | 6 | 6 | |

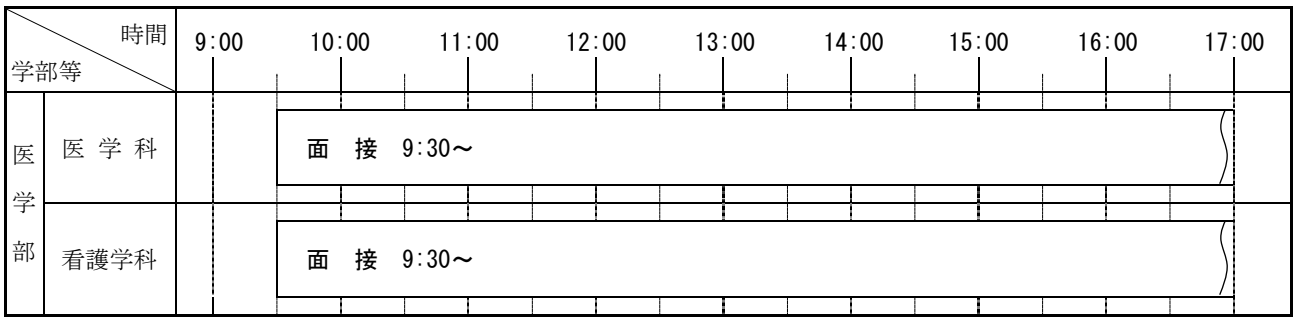
［注］1．総合型選抜及び学校推薦型選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は，人文学部，教育学部は前期日程で，医学部，工学部，生物資源学部は一般選抜で行います。
2．帰国生徒特別選抜及び社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は，人文学部，生物資源学部ともに一般選抜で行います。
人文学部法律経済学科の学校推薦型選抜における募集人員の内訳は，推薦Ⅰ-A：10名，推薦Ⅰ-B：3名です。
3．医学部医学科の前期日程における募集人員には，三重県地域医療枠5名程度を含みます。
4．医学部医学科の学校推薦型選抜における募集人員には，地域枠30名（地域枠A：25名程度，地域枠B：5名程度）を，医学部看護学科の学校推薦型選抜における募集人員には，地域枠15名程度を含みます。
5．教育学部地域推薦について
(1)推薦Ⅱ-地域推薦（三重県南部地域）の合格者は，各コース1名以内，合計5名以内とします。また，合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
(2)推薦Ⅱ-地域推薦（三重県全域）の合格者は，前期日程初等教育選修の募集人員（選修の別がないコースは前期日程の募集人員）が5名以下のコースは1名以内，6名以上の場合は2名以内）とします。また，合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
6．生物資源学部生物資源学科（生物資源総合科学コース）の総合型選抜における募集人員は，紀伊黒潮枠15名とします。
7．工学部総合工学科（電子情報工学コース）の学校推薦型選抜における募集人員は，女子を対象とする女子枠を設け，8名とします。

## ２．個別学力検査等の実施日程

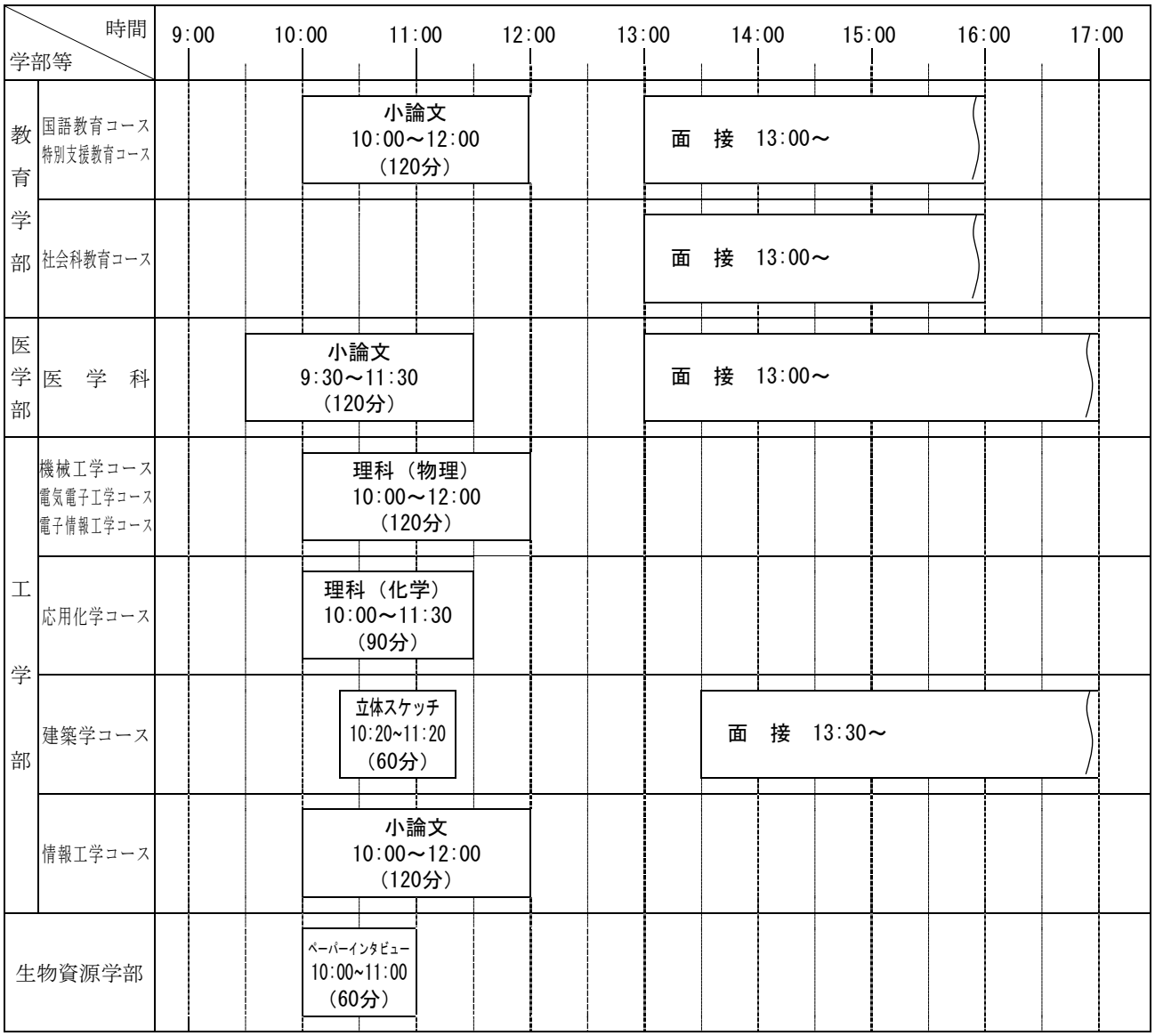
【前期日程：２月25日㈭】




【前期日程：２月26日㈮（医学部のみ）】



【後期日程：３月12日(金)】


時間
学部等
9:00
10:00
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
17:00
教育学部
国語教育コース
特別支援教育コース
小論文
10:00～12:00
（120分）
面　接　13:00～
社会科教育コース
面　接　13:00～
医学部
医　学　科
小論文
9:30～11:30
（120分）
面　接　13:00～
工学部
機械工学コース
電気電子工学コース
電子情報工学コース
理科（物理）
10:00～12:00
（120分）
応用化学コース
理科（化学）
10:00～11:30
（90分）
建築学コース
立体スケッチ
10:20~11:20
（60分）
面　接　13:30～
情報工学コース
小論文
10:00～12:00
（120分）
生物資源学部
ペーパーインタビュー
10:00~11:00
（60分）

## ３．出願資格等

○出願資格

本学の一般選抜に出願することができる者は，次の各号のいずれかに該当し，かつ令和９年度大学入学共通テストにおいて，本学が指定した教科・科目を受験した者です。

⑴　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和９年３月卒業見込みの者

⑵　通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和９年３月修了見込みの者

⑶　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和９年３月31日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑥のいずれかに該当する者）

①　外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和９年３月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和９年３月31日までに修了見込みの者

③　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和９年３月31日までに修了見込みの者

④　文部科学大臣の指定した者

⑤　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和９年３月31日までに合格見込みの者で，令和９年３月31日までに18歳に達するもの（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑥　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和９年３月31日までに18歳に達するもの

「注」

出願資格⑥により出願を希望する者については，本学への出願前に個別の入学資格審査を行いますので，必要書類を添えて申請してください。個別の入学資格審査の詳細については，本学受験生応援サイト（<URL>https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/）を参照してください。

なお，他大学において入学資格の認定を受け，令和９年度大学入学共通テストに出願し受験した者が，本学の一般選抜に出願する場合は，出願受付開始日の７日前（令和９年１月18日㈰）までに申請してください。（土・日・祝日・年末年始を除く）

## ４．過年度の大学入学共通テスト成績

過年度の大学入学共通テストの成績は，全ての学部・学科等において利用しません。

## ５．出願手続

⑴　出願方法

＜ **注意** ＞

１．インターネット出願は，インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了にはなりません。出願期間内に必要な出願書類等が到着するように，簡易書留・速達で郵送する必要があります。

２．前期日程と後期日程の両方に出願する場合は，それぞれインターネットでの入力，入学検定料の支払い及び出願書類等の郵送が必要となります。また，大学入学共通テスト成績請求情報提供手続きについても，必ず行ってください。

３．インターネット出願サイトでの志願者情報登録後，48時間以内に入学検定料を支払う必要があります。（ただし，令和９年２月３日㈬17時までとなります。）

４．上記１及び２を考慮し，余裕をもってインターネット出願を行ってください。

インターネット出願の流れ（６～８ページ参照）

| | |
|---|---|
| Step1　インターネット出願登録 | パソコン・スマートフォン等で本学ウェブサイトから「インターネット出願サイト」にアクセスし，必要情報を入力，登録してください。 |
| ▼ | |
| Step2　成績請求情報<br>提供手続き | 大学入学共通テストの成績請求情報をご提供いただくための手続きです。７ページを参照して，必ず手続きを行ってください。 |
| ▼ | |
| Step3　入学検定料（17,000円）<br>の支払い | インターネット出願サイトの指示に従って，検定料をお支払いください。 |
| ▼ | |
| Step4　出願確認票等の印刷，<br>必要書類等の郵送 | インターネット出願サイトから出願確認票等を印刷し，その他必要書類等とともに本学に送付してください。 |

⑵　出願期間等

| 事　項 | 期　間 |
|---|---|
| インターネット入力 | 令和９年１月２２日㈮ １０時から<br>２月　３日㈬ １７時まで |
| 入学検定料の支払い | インターネット入力後　４８時間以内<br>※ただし，２月　３日㈬ １７時まで |
| 出願期間<br>（提出が必要な出願書類等の郵送） | 令和９年１月２５日㈪ から<br>２月　３日㈬ 【必着】 |

注意事項

・出願方法は郵送のみとし，出願締切日は令和９年２月３日(水)です（本学必着）。ただし，２月２日（火）以前（２月２日を含む）の発信局（日本国内）の消印がある簡易書留・速達郵便のものは受理します。郵便事情等を考慮の上，余裕をもって発送してください。

・荒天や輸送事情等のトラブルなど志願者の責めに帰さない理由により，２月３日（水）までに到着しないことが想定される場合には，必ず２月２日（火）17時00分までに学務部入試チームまでご連絡ください。

・出願書類等の提出は，必ず簡易書留・速達で郵送してください。簡易書留・速達以外で郵送した場合，事故があっても本学ではその責任は負いません。

・出願書類等が本学に到着したかどうかについてはお答えすることはできませんので，日本郵便ホームページ等の追跡サービスで確認してください。

・出願状況は，本学受験生応援サイトに掲載します。（１ページ参照）

⑶　インターネット出願のために準備するもの

| | |
|---|---|
| パソコン・スマートフォン等の動作環境 | インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は，学校，図書館等のパソコン等から出願してください。 |
| 印刷環境（カラー推奨） | 郵送が必要な書類をＡ４用紙で印刷します。自宅にプリンタがない場合は，学校，図書館，コンビニエンスストア等のプリンタから印刷してください。<br>カラー印刷ができない場合は，白黒印刷でも構いません。 |
| メールの設定 | 出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は，メールが届かないことがあります。<br>@sak-sak.net.jp を受信可能なドメインとして設定してください。 |
| 提出が必要な出願書類等 | ９～１１ページ参照の上，提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。 |
| 顔写真データ | 出願情報の登録の際に，顔写真データのアップロードが必要になりますので，あらかじめ準備してください。<br>・出願日前６ヶ月以内に撮影した，無背景・上半身・無帽・正面向きのもの<br>・ファイル形式は JPEG または JPG 形式<br>・縦４×横３の比率のもの |

| | |
|---|---|
| | ※出願サイトに写真データをアップロードする際に，写真の回転・拡大・縮小等を行い，縦４×横３のサイズに切り出すこともできます。<br>※証明写真をカメラで再撮影したものをアップロードしないでください。<br>画像が粗くなり，本人確認できない場合があります。 |
| 封　　筒 | 必要書類等郵送のために，市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）をご用意ください。 |

⑷　出願手続の手順

受験生応援サイトから「インターネット出願サイト」にアクセスしてください。

「インターネット出願サイト」〈URL〉https://www.mie-u.ac.jp/exam/internet/

Step1　インターネット出願登録

・インターネット出願サイトの「利用案内」，「出願手順」，「Ｑ＆Ａ」等を必ず確認してください。

・画面に従って，出願登録を行ってください。

・確認画面で登録内容に間違いがないか，確認してください。

※出願登録完了後の登録内容の変更はできませんので，登録した内容を十分に確認してください。

Step2　大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続き

本学のインターネット出願時に成績請求情報（注１）をご提供いただくための手続が必要です。手続きの方式として，一般的に「Web 方式」及び「チケット方式」がありますが，本学では「Web 方式」のみ採用しています。本学の一般選抜はすべての学部で大学入学共通テストを利用しますので，志願者は全員，大学入学共通テスト「受験案内」にある「Ｅ 志望大学への出願等に係る手続」を参照の上，下記のとおり手続きを行ってください。

① 「共通テスト出願サイト」から「申込番号」を確認してください。

② 本学「インターネット出願サイト」上にて「申込番号」等（注２）を入力してください。

注１：成績請求情報とは，各大学が大学入試センターに志願者の大学入学共通テストの成績を請求するための情報です。

注２：「申込番号」等とは，共通テスト出願サイトのマイページより確認できる「ユーザ ID（メールアドレス)・パスワード」及び「申込番号」のことを指します。

Step3　入学検定料の支払い

次のいずれかの方法で支払い手続を行ってください。前記(2)出願期間等に記載された支払い期限までにお支払いください。検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。

ａ　クレジットカード，ネットバンキング

画面に従って，支払い手続を行ってください。

ｂ　指定のコンビニエンスストア及び pay-easy（ペイジー）取扱い金融機関ＡＴＭ

・支払い方法を選択し，表示される番号（出願受付番号とは別の番号）をメモするか，画面を印刷してください。

・メモした番号等を使用し，コンビニエンスストア，金融機関で支払い手続を行ってください。

Step4　出願確認票等の印刷

Ａ４サイズの白の用紙で，「出願確認票」を印刷（カラー推奨）してください。

出願書類等を送付するための封筒に貼付する「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷してください。

Step5　必要書類等の郵送

必要書類等（９ページ**⑻提出が必要な出願書類等**参照）を**簡易書留・速達**により郵送してください。

⑸　入学検定料の支払い方法

支払い方法は，クレジットカード，ネットバンキング，コンビニエンスストア，銀行ＡＴＭ（ペイジー）が利用可能です。それぞれ手続等注意事項を確認の上，支払い方法を選択してください。詳しい支払い方法については，出願情報登録後の「お支払い方法選択」で選択した支払い方法の画面で確認してください。

検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。

| 支払方法 | 取扱機関等 | 備　　考 |
|---|---|---|
| クレジットカード | VISA, MASTER, AMERICAN EXPRESS, JCB, Diners Club | 支払い方法は一括のみです。 |
| ネットバンキング | 楽天銀行，au じぶん銀行，<br>Pay-easy 対応ネットバンキング | 事前に金融機関にて口座の開設，申し込みが必要です。 |
| コンビニエンスストア | セブンイレブン，ローソン，ミニストップ，<br>ファミリーマート，デイリーヤマザキ・デイリーストア，<br>セイコーマート | 支払い方法は現金のみです。 |
| 銀行ＡＴＭ（ペイジー） | ゆうちょ銀行，みずほ銀行，三菱ＵＦＪ銀行，<br>三井住友銀行，りそな銀行，静岡銀行，スルガ銀行，<br>清水銀行，大垣共立銀行，十六銀行，あいち銀行，<br>名古屋銀行，百五銀行，三十三銀行　　他 | 取扱い金融機関の pay-easy マークの付いたＡＴＭで支払うことができます。 |

**【インターネット出願登録に関わる注意事項】**

・「出願受付番号」は，受験番号ではありません。

・インターネット出願登録完了後は，登録内容の修正・変更は一切できませんので誤入力のないよう注意してください。検定料支払い前に誤入力等に気がついた場合は，検定料を支払わずに，もう一度新たに最初から登録をやり直してください。

・インターネット出願登録完了後，支払い期限までに検定料の支払い手続が行われなかった場合，出願受付は完了しません。

・**入金後に操作の誤り等により手続きを取消したい場合は，速やかに三重大学入試チームに連絡し，取消の可否を確認してください。出願書類を受理した後では，取消を行うことはできません。また，上記の場合，取消の可否確認を受ける前に，大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上で「取消」操作をしても，出願を取り下げたことにならないため，ご注意ください。**

⑹　入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は，次の場合を除き，納入した入学検定料は返還できません。

①　入学検定料を払い込んだが，出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合（返還額：17,000円）

②　入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合（返還額：17,000円）

③　出願受付後に，大学入学共通テスト受験教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合（返還額：13,000円）

④　医学部医学科の第１段階選抜で不合格となった場合（返還額：13,000円）

〈返還請求方法〉

本学受験生応援サイト（〈URL〉 https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/）の「01　受験をお考えの方へ」＞「さらに詳しく」＞「学部入試」の順に進み，掲載されている「入学検定料の返還について」に従って，返還手続を速やかに行ってください。

〈URL〉 https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/folder/index.html

※なお、上記③，④の対象者は，別途，本学より対象であることを連絡します。

⑺　入学検定料の免除について

三重大学（以下「本学」という。）では，地震，事故及び台風等で被災された方の経済的負担を軽減し，受験機会を提供するために，次のとおり入学検定料の免除の特例措置を講じます。

［対象者］

災害救助法が適用された地域で被災した志願者のうち，次のいずれかに該当する場合は，申請により入学検定料を免除します。

①主たる学資負担者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊又は流出したもの
②主たる学資負担者が死亡又は行方不明となったもの
③主たる学資負担者が失職した場合
④前三号に準ずる者であって，学長が相当と認めたもの

上記に該当される方は，「検定料免除申請書」を本学受験生応援サイトに掲載されている「入学検定料免除の特例措置について」からダウンロードし，関係書類を添え出願書類に同封して令和９年１月18日㈪までに（必着）申請してください。書類の提出に関する問合わせ等は，平日８時30分から17時15分の間に学務部入試チーム（電話０５９－２３１－９０６３）まで連絡してください。

⑻　提出が必要な出願書類等

インターネット出願登録後，以下のとおり必要な書類を郵送してください。

**本学の前期日程と後期日程を併願する者は，試験日程別に必要書類を取り揃え，別々の封筒に封入し，それぞれ個別に郵送してください。**

**高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）による出願者は、「合格証明書」及び「合格成績証明書」の両方の提出が必要です。**

**いずれか一方のみ提出された場合は、出願書類不備となり、出願を受理できませんので十分注意してください。**

| 出願書類等 | 対象者 | 摘　　要 |
|---|---|---|
| ①　出願確認票 | 全　員 | インターネット出願サイトの出願登録完了画面から出願確認票を印刷してください。なお，以下の点に留意して提出してください。<br>【大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続き】<br>**７ページを参照して手続きを行ってください。**<br>【写真】<br>出願日前６ヶ月以内に撮影した，無背景，上半身，無帽，正面向きのものをインターネット出願サイトにアップロードしてください。 |

| 出願書類等 | 対象者 | 摘　　要 |
|---|---|---|
| ②調査書（厳封のもの）<br>※外国語によるものは日本語の訳を付けてください。<br>※調査書等と現在の姓が異なる場合は，改姓の事実が確認できる証明書等を提出してください。<br>※過年度卒業生については，従前の様式による調査書の提出を認めます。 | 全　員 | 次の⑴～⑺のいずれかを提出してください。<br>⑴出身高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和９年３月卒業見込みの者は，高等学校又は中等教育学校において文部科学大臣の定めた様式により作成した調査書を提出してください。<br>⑵高等専門学校第３学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者は，出身校において文部科学省が定めた調査書に準じて作成したものを提出してください。<br>**⑶高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定合格者を含む。）による出願者は，「合格証明書」及び「合格成績証明書」の両方の提出が必要です。いずれか一方のみ提出された場合は，出願書類不備となり，出願を受理できませんので十分注意してください。※書類の手配に時間がかかりますので、早めに準備するようにして下さい。**<br>ただし，高等学校等において科目を修得したことにより受験科目の一部を免除された場合は，その免除された科目の高等学校の調査書又は成績証明書を提出してください。<br>⑷外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの，国際バカロレア資格取得者，アビトゥア資格取得者，バカロレア（フランス共和国）取得者，ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者，インターナショナルＡレベル資格取得者，ヨーロピアン・バカロレア資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科を修了（見込み）した者は，調査書に代えて成績証明書を提出してください。<br>**⑸出身学校の事情（廃校及び被災者を含む。）により，出身学校長の調査書が得られない場合は，卒業証明書及び成績通知表又は成績通信簿，成績証明書，単位修得証明書の２点を，調査書に代えて提出してください。これら２点も提出できない場合は，学校長からの「発行できない旨の書面」を提出してください。**<br>⑹本人が被災等により⑸の書類も整えられない場合は，出身学校を所管する教育委員会，知事又は出身学校長が作成した⑸の下線部で示す証明書に記載されている内容を証明できる書類を提出してください。<br>⑺上記⑴～⑹に該当しない者については，本学学務部入試チーム（電話059－231－9063）へ提出書類を確認の上，提出してください。<br>ただし，５ページの出願資格⑥によって，本学の個別入学資格審査を受け認定を受けた者については，既に関係書類を提出済のため提出を要しません。<br>⑻その他<br>※１教育学部の音楽教育，美術教育の各コースを志願する者のうち，能力・適性等，特に高等学校長等が推薦できる者については，その旨（各種コンクール等において，特に優秀な成績を収め，推薦に値すると認められる等）を「備考」欄に具体的に記入してください。<br>※２工学部一般選抜「後期日程」の各コース（建築学コース除く）を志願する者のうち，前述の⑶から⑹に該当する者については，工学部所定の様式書類を提出してください。 |
| ③教員志望確認書 | 該当者のみ | 教育学部（前期日程，後期日程）を志願する者は，必ず提出してください。 |
| ④選択曲目等申告書等 | | 教育学部音楽教育コース（前期日程）を志願する者は，「選択曲目等申告書」を提出してください。なお，移調楽譜，演奏楽譜のコピー等があれば必ず提出してください。（39～41ページ参照） |
| ⑤競技成績等調書，健康状態調査 | | 教育学部保健体育コース（前期日程）を志願する者は必ず提出してください。 |
| ⑥履歴書<br>（本学所定様式） | | 医学部医学科を志願する者は，本学所定の様式で必ず提出してください。<br>（令和９年３月卒業見込みの者を含む） |

| 出願書類等 | 対象者 | 摘　　要 |
|---|---|---|
| ⑦誓約書，同意書及び本人確認書類 | 該当者のみ | 医学部医学科前期日程の三重県地域医療枠を志願する者は，必ず提出してください。<br>※本人確認書類の詳細については「同意書に添付する本人確認書類の写しについて」を確認してください。指定の本人確認書類を所持していない場合は，事前に三重県医療保健部医療人材課医師確保班へ相談してください。 |
| ⑧入学資格認定証（写） | | ５ページの「３出願資格等」(3)の⑥による出願者は提出してください。 |
| ⑨健康診断書 | | 出願期間中に外国に居住している者（日本国籍を有する者を含む）で，受験するために渡日する者は，健康診断書（本学所定の用紙）を提出してください。健康診断書は，出願期間の初日の時点から起算して６か月以内に海外の医療機関において公式に作成されたものとします。健康診断書の様式は，本学受験生応援サイト（〈URL〉https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/health/）よりダウンロードしてください。<br>なお，入国前結核スクリーニング対象国の方については必要書類が変わりますので上記の URL から確認をしてください。<br>また，健康診断書の判定は次のとおり行います。<br>本学保健管理センターにおいて健康診断書を確認し，結核感染等が確認された場合には，入学試験期日の２週間前までに新たに健康診断書を提出し，「感染のおそれがない」と認められない限り，入学試験を受験することはできません。<br>上記の事由により，受験できなかった者については，入学検定料を返還いたします。 |

**注意事項**

出願書類②調査書の※２，③教員志望確認書，④選択曲目等申告書，⑤競技成績等調書，健康状態調査，⑥履歴書，⑦誓約書，同意書の様式は，本学受験生応援サイトの「01 受験をお考えの方へ」>「さらに詳しく知りたい」>「入学者選抜要項/学生募集要項」の順に進み、ダウンロードしてください。(学生募集要項とともに掲載しています。)

〈URL〉 https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/

⑼ 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法

① 提出封筒の準備

志願する日程（「前期日程」，「後期日程」）の封筒及び必要書類を用意し，提出してください。

「前期日程」，「後期日程」の両方に出願する場合は，それぞれ用意してください。

ア．必ず，角形２号封筒（横24cm×縦33.2cm でＡ４サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。

長形３号封筒（横12cm×縦23.5cm）等は使用できません。

イ．出願登録完了画面から「封筒貼付用ラベル」を印刷し，アの封筒の表（宛名）面に貼付してください。

② 提出が必要な出願書類等の封入

９ページの⑻提出が必要な出願書類等を確認し，封入してください。

なお，出願書類等は，左上の部分を大きめのゼムクリップ（ホッチキスは使用しない）でとめてから封入してください。

③ 簡易書留・速達郵便で送付

６ページの⑵出願期間等の「出願期間（提出が必要な出願書類等の郵送)」の郵送期間内に，**簡易書留・速達郵便** で郵送してください。

速　　達

切　手
貼　付

5 1 4 − 8 5 0 7

三重県津市栗真町屋町1577

# 三重大学
# 学務部入試チーム　御中

**簡易書留**　**折曲厳禁**

## 一般選抜 前期日程 出願書類在中

**以下の書類がそろっているか必ず確認してから封入してください。**

＜全員提出する書類＞
□出願確認票【大学提出用】
□調査書（高等学校長若しくは中等教育学校長厳封のもの）

＜該当者のみ提出する書類＞
□教員志望確認書（教育学部志願者のみ）
□選択曲目等申告書（教育学部音楽教育コース志願者のみ）
□楽譜（教育学部音楽教育コース志願者の該当者のみ）
□競技成績等調書・健康状態調査（教育学部保健体育コース志願者のみ）
□履歴書（医学部医学科志願者のみ）
□誓約書（医学部医学科前期日程の三重県地域医療枠志願者のみ）
□同意書及び本人確認書類（写）（医学部医学科前期日程の三重県地域医療枠志願者のみ）
□三重大学入学資格認定書（写）（該当者のみ）
□健康診断書（出願期間中に外国に居住している者（日本国籍を有する者を含む））

郵便局引受番号

| 差出人 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 志望学部 | 医学部 | | |
| | 第1志望の学科・コース | 医学科 | | |
| | 受験科目 | 数学　理科（化学基礎・化学）　理科（生物基礎・生物）　外国語　面接 | 試験場 | 三重大学 |
| | 住所 | 〒100-0001<br>東京都千代田区千代田１－２－３<br>マンション１００ | | |
| | 氏名 | ミエダイ　ハナコ<br>三重大　花子 | | |

前

# 2027年度　三重大学 出願確認票

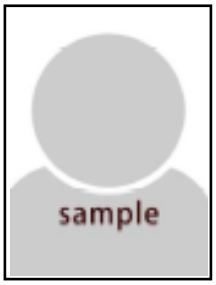
**大学提出用**　**前**

## 一般選抜 前期日程

登録日 :2026年8月3日
出願受付番号 :**3017-007279**

| | | |
|---|---|---|
| 出願者 | 氏名 | 三重大 花子 |
| | 氏名(カナ) | ミエダイ ハナコ |
| | 生年月日 | 2008年11月18日 |
| | 性別 | 女 |

※受験番号




※印欄は
記入しないでください

| | | | |
|---|---|---|---|
| 通知先 | 郵便番号 | | 100-0001 |
| | 住所 | | 東京都千代田区千代田１－２－３<br>マンション１００ |
| | 電話番号 | 電話番号1 | 06-1111-1178 |
| | | 電話番号2 | |
| | メールアドレス | | sample@samle.co.jp |
| | その他連絡先 | 氏名 | 保護者 親 |
| | | 携帯電話 | 080-1234-5678 |

**≪決済内容≫**

| | |
|---|---|
| 払込金額 ※ | 17,880円 |

※一度に複数の志願票で出願を行った場合は、出願確認票の≪出願内容≫に記載された金額の総額が払込金額に記載されています。

| | | |
|---|---|---|
| 出願資格 | 出身学校名 | 三重県 都道府県立 ○○ (高等学校) |
| | 卒業(見込み)年月 | 2027年3月 |
| | 区分 | 卒業見込み |

| 大学入学共通テスト成績請求番号 |
|---|
| |

**≪出願内容≫**

| 試験日 | 試験 | 志望順位 | 志望学部 | 学科・コース | 受験科目 | 試験場 | 金額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 募集要項参照 | 一般選抜 前期日程 | 第一志望 | 医学部 | 医学科 | 数学 理科（化学基礎・化学） 理科（生物基礎・生物） 外国語 面接 | 三重大学 | 17,000円 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | 合計 | 17,000円 |

| 医学部医学科志望枠 |
|---|
| 第1志望：地域医療枠<br>第2志望：- |

| 医学部看護学科志望枠 |
|---|
| |

## ６．出願上の注意事項

⑴　本学の「前期日程」に出願する者は，他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。

　また，本学の「後期日程」に出願する者は，他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。　※公立大学協会ホームページ（〈URL〉 https://www.kodaikyo.org）参照

⑵　本学の学部間においても，「前期日程」から一つ，「後期日程」から一つの合計二つの学部又は同一学部の学科・課程等に出願することができます。

⑶　国公立大学の前期日程試験に合格し，令和９年３月15日㈪までに入学手続を行った者は，国公立大学の後期日程試験を受験してもその合格者となりません。

⑷　国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者は，当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除いて，他の国公立大学の一般選抜を受験しても，その大学・学部の合格者とはなりません。

⑸　出願にあたっては，志願する学部・学科・課程・コースが指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験しているか，必ず志願者本人が確認してください。出願受付後に，独立行政法人大学入試センターから大学入学共通テストの成績提供を受けた結果，志願する学部・学科・課程・コースが指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は，出願無資格者となり，本学個別学力検査を受験することはできません。

⑹　いったん受理した出願書類は，いかなる理由があっても返還しません。

## ７．「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は，「入試過去問題活用宣言」に参加しています。

⑴　本学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に沿った選抜を実現するため，必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

⑵　「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧は，以下の「入試過去問題活用宣言」ホームページをご確認ください。

〈URL〉 https://www.nyushikakomon.jp/

⑶　入試過去問題は，そのまま使用する場合も一部改変して使用する場合もあります。また，必ず使用するとは限りません。

⑷　入試過去問題を使用した場合は，全ての入学者選抜終了後，本学受験生応援サイトにて公表します。

## ８．障害等のある入学志願者との事前相談について

本学一般選抜（前期日程・後期日程）の入学志願者で，疾病・負傷や身体障害のため，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，令和８年12月14日㈪までに下記の申請先に事前相談の申請をしてください。

また，相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害等を有することとなった場合は，その時点で速やかに相談してください。事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき，受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので，障害のある方の受験や修学を制限するものではありません。

⑴　申請方法

　電話によりあらかじめ学務部入試チームに連絡した上で，本学受験生応援サイトの「01　受験をお考えの方へ」＞「さらに詳しく知りたい」＞「学部入試」＞「障害等のある入学志願者の出願前相談申請について」の順に進み，申請してください。

〈URL〉 https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/disabled-person/

また，参考として「医師の診断書（写)」,「障害者手帳（写)」,「大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写)」等をメールにて提出してください。

⑵ 申請先

三重大学学務部入試チーム　ＴＥＬ：０５９－２３１－５５３８

**事前相談の対象となる者【参考】**

| 区　分 | 対象となる者 |
|---|---|
| ①　視覚障害 | ・点字による教育を受けている者<br>・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者<br>・視力以外の視機能障害が高度な者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者<br>・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者 |
| ②　聴覚障害 | ・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者<br>・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者 |
| ③　肢体不自由 | ・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者<br>・両上肢の機能障害が著しい者<br>・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者 |
| ④　病弱 | ・慢性の呼吸器疾患，心臓疾患，腎臓疾患，消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者 |
| ⑤　発達障害 | ・学習障害，注意欠陥多動性障害，自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者 |
| ⑥　その他 | ・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者 |

「注」日常生活においてごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も，試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので，事前に相談してください。

⑶ 受験上の配慮の例

| | |
|---|---|
| ・試験場への乗用車の入構 | ・試験室を別室に設定 |
| ・車椅子の使用 | ・座席を最前列／最後列／出入口近く等に設定 |
| ・補聴器の使用 | ・試験室を障害者用トイレ近くに設定 |
| ・連絡事項の文書による伝達 | ・試験時間の延長 |

三重大学の取り組み

本学では,「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており，各学部及び学内関連組織と連携を図りながら，学生支援に取り組んでいます。詳細は以下のウェブページをご参照ください。

〈URL〉 https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html

## ９．受験票及び受験案内について

令和９年２月10日㈬17時頃に受験票及び受験案内の印刷が可能になります（詳細はメールでお知らせします）。再度，インターネット出願サイトにアクセスし，受験票及び受験案内を白色のＡ４用紙で印刷し，内容を熟読の上，試験当日必ず持参してください。本学からの受験票及び受験案内の交付（郵送）はありません。

受験票及び受験案内を印刷したら，受験者氏名等が出願した内容と相違ないか確認してください。

万一，記載内容に誤りがある，または出願手続したが２月10日㈬18時を過ぎても印刷できない場合には，三重大学学務部入試チーム（電話：０５９－２３１-９０６３）まで連絡してください。

※医学科２段階選抜実施に係る受験票等の詳細については，医学科の該当ページ（49，52，53ページ）をご覧ください。

## 10．受験に際しての注意事項（共通的な事項）

⑴ 試験当日は，「本学受験票」，「受験案内」及び「令和９年度大学入学共通テスト受験票」を必ず携帯し，試験室では白色のＡ４用紙に印刷された「本学受験票」及び「令和９年度大学入学共通テスト受験票」を机上に置いてください。携帯しない場合には，試験室へ入室することはできません。

⑵ 不測の事態の発生により，当初の予定どおり試験を実施できなくなった場合は，本学受験生応援サイトの「News & Topics」(〈URL〉 https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/)及びスマートフォン・携帯電話サイト(〈URL〉 https://daigakujc.jp/mie-u/)にてお知らせします。

⑶ 試験当日は，試験開始時刻の30分前に到着して，当該試験場の掲示を熟読してください。
また，休憩時間及び試験終了後にも掲示に注意してください。

⑷ 試験当日は，試験開始時刻の20分前に入室し，机に表示されている受験番号を確認して着席し，監督者の指示に従ってください。

［教育学部実技検査受験者］

| | |
|---|---|
| 音楽教育コース受験者<br>美術教育コース受験者 | 試験開始時刻の30分前までに指定する場所に集合してください。 |
| 保健体育コース受験者 | 試験開始時刻の60分前までに指定する場所に集合してください。 |

［工学部総合工学科建築学コース（後期日程）受験者］

試験開始時刻の40分前に試験室に入室してください。

⑸ 試験開始時刻に遅れた場合は，係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分を経過した場合は当該教科及びその後の受験は認めません。ただし，医学部医学科及び医学部看護学科の面接試験については，本学受験票記載の集合時間までに入室していない場合は，受験することはできません。

⑹ 試験開始から試験終了までは，試験室からの退室を認めません。試験中の体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には，自席で挙手し監督者の指示に従ってください。
ただし，一時退室が認められた場合でも，試験室以外での受験はできません。また，一時退室した分の試験時間の延長も認めません。

⑺ 試験中は，机の上には，受験票，黒鉛筆（シャープペンシル可），鉛筆キャップ，プラスチック製の消しゴム，鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフを除く。），時計（辞書，電卓，端末等の機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。），眼鏡，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの），目薬以外の所持品を置いてはいけません。

⑻ 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
試験時間中は，携帯電話等の電子機器類はかばん等にしまう必要があります。試験時間中に，これらをかばん等にしまわず，身につけていたりポケット等に所持していたり，手に持っていたりすると不正行為として取り扱います。

⑼　質問等がある場合は，自席で挙手し監督者の指示に従ってください。

⑽　試験場の下見は，以下のとおりとし，建物及び試験室への入室はできません。

前期日程：２月24日㈬ 13時～16時

後期日程：３月11日㈭ 13時～16時

⑾　本学試験場へは，試験当日，事前に許可された者以外の受験者は自動車での入構はできませんので，必ず公共の交通機関を利用してください。

**なお，周辺地域への交通渋滞防止の観点から，自家用車による送迎はご遠慮願います。**
**また，周辺商業施設及び道路への無断駐停車は絶対に行わないでください。**
**万が一，他車の通行の妨げとなる等の迷惑行為が発見された場合，警察に通報させていただくことがあります。**

## 11. 不正行為の取扱いについて

⑴　次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。その他状況によっては警察に被害届を提出する場合があります。

①　インターネット出願登録の際に虚偽の情報を入力したり，出願確認票に本人ではない写真を登録・アップロードしたり，解答用紙に虚偽の記入をすること。

②　カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど）をすること。

③　他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。

④　配付された問題冊子を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

⑤　解答用紙を試験室から持ち出すこと。

⑥　解答開始の指示の前に，問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。

⑦　試験時間中に，携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）その他の通信機能を有する電子機器類を，かばん等にしまわず所持すること。なお身につけている場合，ポケット等に入れている場合及び手に持っている場合を含みます。

⑧　試験時間中に，電子辞書，ＩＣレコーダーその他本学が使用を認めていない電子機器類を使用又は所持すること。

⑨　試験時間中に，コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具を使用すること。

⑩　解答終了の指示に従わず，鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

⑵　上記⑴以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，上記⑴と同様です。

①　試験時間中に，コンパス，電卓等の補助具をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていたりすること。

②　試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。

③　試験に関することについて，自身や他の受験者を利するような申し出をすること。

④　試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

⑤　試験場において監督者等の指示に従わないこと。

⑥　その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

# 12. 個別学力検査等の試験場

試験場は，出願期間終了後に決定し，受験票に記載しますので，必ず確認してください。

⑴ 前期日程

前期日程の試験場は，次のとおり三重大学内の各学部と共通教育校舎等の建物を使用する予定です。
なお，各自が受験する試験場については，受験票に記載しますので，必ず確認してください。

| 試験場 | 建　物　名　称 |
|---|---|
| 第１試験場 | 生物資源学部校舎・共通教育校舎１号館 |
| 第２試験場 | 教育学部校舎・共通教育校舎１号館 |
| 第３試験場 | 共通教育校舎２号館 |
| 第４試験場 | 共通教育校舎３号館，人文学部校舎 |
| 第５試験場 | 工学部校舎 |
| 第６試験場 | 医学部校舎 |

「注」試験場は，志望学部の建物とは限りませんので，注意してください。

⑵ 後期日程

後期日程の試験場は，次のとおり三重大学内の各学部及び共通教育校舎の建物を使用する予定です。
なお，各自が受験する試験場については，受験票に記載しますので，必ず確認してください。

| 試験場 | 建　物　名　称 |
|---|---|
| 第１試験場 | 生物資源学部校舎・共通教育校舎１号館 |
| 第２試験場 | 教育学部校舎・共通教育校舎１号館 |
| 第３試験場 | 共通教育校舎１号館・２号館 |
| 第５試験場 | 工学部校舎 |
| 第６試験場 | 医学部校舎 |

「注」試験場は，志望学部の建物とは限りませんので，注意してください。

⑶ 本学試験場への自動車の入構について

本学試験場へは，試験当日，事前に許可された者以外の受験者は自動車での入構はできませんので，必ず公共の交通機関を利用してください。

**なお，周辺地域への交通渋滞防止の観点から，自家用車による送迎はご遠慮願います。**
**また，周辺商業施設及び道路への無断駐停車は絶対に行わないでください。**
**万が一，他車の通行の妨げとなる等の迷惑行為が発見された場合，警察に通報させていただくことがあります。**

⑷ 臨時バスの運行計画（予定）等について

前期日程の第１日目（２月25日）は，通常の定期便に加えて臨時バスを以下のとおり運行します。
臨時バスについても通常の定期便と同額の運賃が必要です。なお、前期日程の第２日目（２月26日），後期日程（３月12日）は臨時バスを運行しません。

| 運　行　経　路 | 運 行 時 間 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 津駅前　　→　三重大学前 | ７：30 ～ ９：00 | 津駅前発の臨時バスは、津駅東口４番のりばから発車します。 |
| 三重大学　→　津駅前 | 14：10 ～ 14：40<br>17：20 ～ 18：00 | 三重大学発の臨時バスは、正門付近に各時間帯2台ずつ配車します。 |

「注」試験当日は朝の交通渋滞が予想されますので，注意してください。

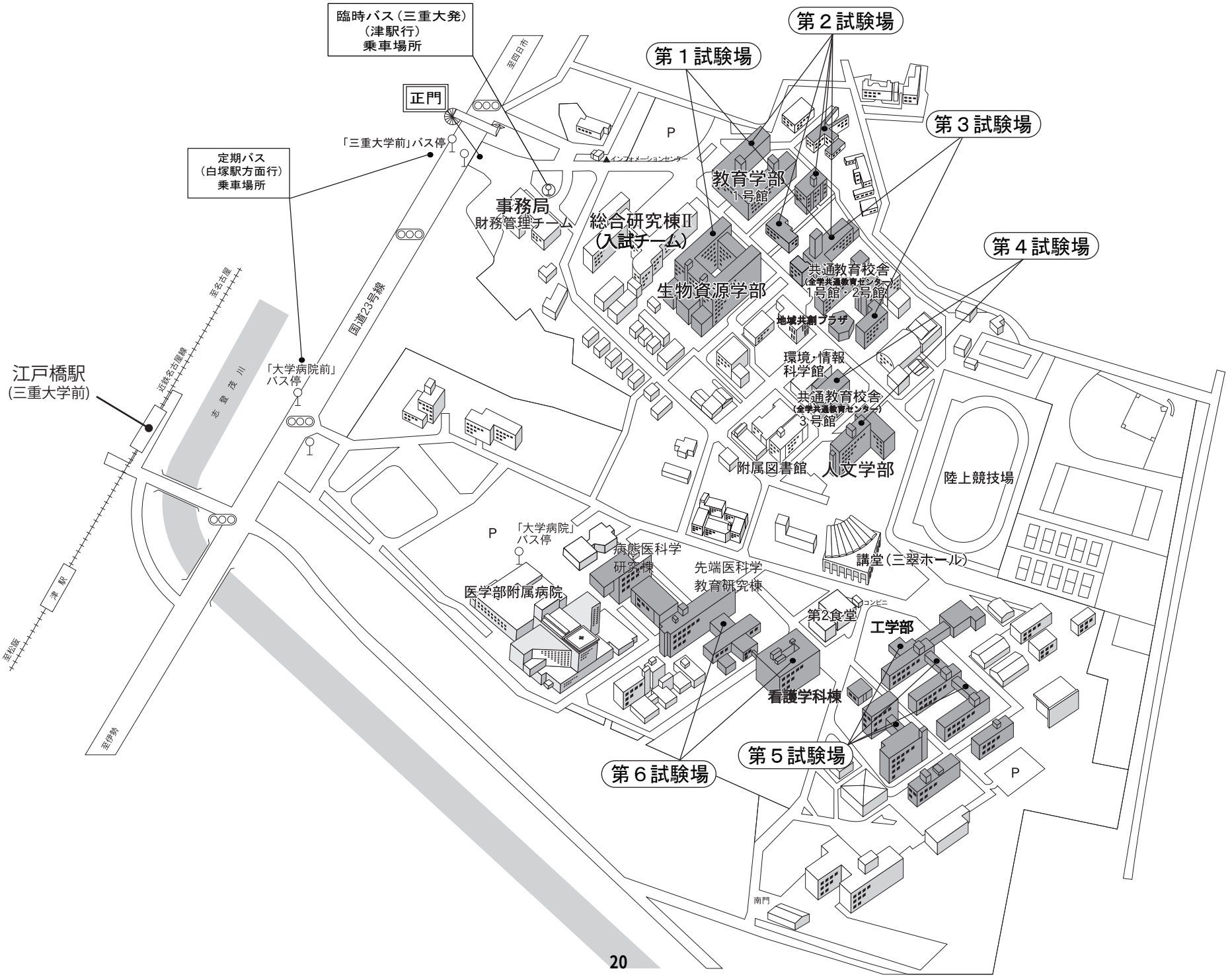
⑸　試験場案内，試験場への経路




【試験場への経路】

①　近鉄江戸橋駅（急行停車駅）下車徒歩約15分

②　ＪＲ東海，近鉄津駅（特急・急行停車駅）下車
津駅前バスのりば（津駅東口）「４番のりば」からバスで約10分
三重交通バス「白塚駅」，「椋本」，「豊が丘」，「サイエンスシティ」，「三重病院」，「東豊野」
「高田高校前」行きに乗車
「大学病院前」又は「三重大学前」で下車


臨時バス（三重大発）
（津駅行）
乗車場所
第２試験場
第１試験場
第３試験場
第４試験場
正門
至四日市
「三重大学前」バス停
定期バス
（白塚駅方面行）
乗車場所
P
インフォメーションセンター
教育学部
1号館
事務局
財務管理チーム
総合研究棟Ⅱ
（入試チーム）
生物資源学部
共通教育校舎
（全学共通教育センター）
1号館・2号館
地域共創プラザ
環境・情報
科学館
共通教育校舎
（全学共通教育センター）
3号館
附属図書館
人文学部
陸上競技場
江戸橋駅
（三重大学前）
至名古屋
近鉄名古屋線
志登茂川
「大学病院前」
バス停
国道23号線
至松阪
津駅
至伊勢
P
「大学病院」
バス停
病態医科学
研究棟
先端医科学
教育研究棟
医学部附属病院
講堂（三翠ホール）
第2食堂
コンビニ
工学部
看護学科棟
第５試験場
第６試験場
P
南門

## 13. 受験時の宿泊案内

本学での受験に際し宿泊を必要とする方は，各自で宿泊施設等を予約してください。

## 14. 合格発表

⑴ 合格者の発表は，次表のとおり行います。

| 日程 / 学部 | 前期日程 | 後期日程 | 発表方法 |
|---|---|---|---|
| 人文学部<br>教育学部<br>医学部<br>工学部<br>生物資源学部 | 令和９年３月９日㈫<br>15時頃 | 令和９年３月23日㈫<br>15時頃 | 本学受験生応援サイト |

⑵ 合格者の受験番号を本学受験生応援サイトに合格発表後から各日程の入学手続締切日まで掲載します。
多数のアクセスにより応答が遅くなったり，回線等の障害が発生し閲覧できなくなったりすることも予想されますので，ご留意願います。なお，掲示による発表は行いません。
本学受験生応援サイト：〈URL〉https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/
電話等による合否の問い合わせには，一切応じられません。

本学ウェブサイトへ繋がりにくい場合は，スマホ・携帯電話サイトもご覧いただけます。
スマホ・携帯電話サイト：〈URL〉https://daigakujc.jp/mie-u/

⑶ 合格者には，合格通知書及び入学手続に必要な書類等を，合格発表後に郵送（発表当日の発送（速達））します。

# 15. 入学手続

入学手続期間及び手続方法・手続場所等については以下のとおりです。

なお，入学手続の詳細については，一般選抜合格者に対して送付する案内文書により通知します。

⑴ 入学手続期間及び手続方法・手続場所

| 区　分 | 入学手続期間及び手続方法 | 手 続 場 所（予定） |
|---|---|---|
| 前期日程 | 【郵送（簡易書留・速達）の場合】<br>令和９年３月９日㈫ ～３月12日㈮<br>（３月12日㈮ 17時までに本学必着） | |
| | 【持参の場合】<br>令和９年３月15日㈪ 10時～17時 | 各学部学務担当 |
| 後期日程 | 【郵送（簡易書留・速達）の場合】<br>令和９年３月23日㈫ ～３月26日㈮<br>（３月26日㈮ 17時までに本学必着） | |
| | 【持参の場合】<br>令和９年３月27日㈯ 10時～17時 | 各学部学務担当 |

⑵ 留意事項

① 所定の入学手続期間内に入学手続を完了しない合格者は，入学を辞退したものとして取扱います。

② 合格者は，本学に入学手続を行った後，これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

⑶ 入学手続に必要な書類等

① 卒業証明書（令和９年３月卒業者のみ）

② 入学料　282,000円（※納入した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。）

③ 国公立大学入学確認票（大学入学共通テスト「受験案内」にある「E 志望大学への出願等に係る手続き」を参照の上，共通テスト出願サイトから取得すること）

④ 別途指示する書類等

（「三重大学入学手続きホームページ」及び「入学手続要項」を熟読してください。）

「注」入学料及び授業料の免除，徴収猶予を希望する者は，入学料，授業料を納付する前に申し出てください。

⑷ その他必要となる諸経費について

① 授業料　前期分　267,900円（年額　535,800円）

（※在学中に授業料の改定を行った場合には，改定した新授業料が適用されます。）

② その他諸経費

(a) 個人用ノートパソコン

三重大学では個人用ノートパソコン必携化の制度が導入されています。入学の際にはノートパソコンをご準備いただく必要がございますので，あらかじめご了承ください。詳細については，26ページを参照してください。

(b) 学生保険

本学が指定する保険に加入していただきます。実習など授業形態が異なるため，保険の内容及び金額については，学部や学科等により異なります。

(c) 教科書代等

授業に必要な費用が生じることがあります。

(d) 同窓会費等

入学する学部や学科等によって内容や金額は異なります。詳細は入学手続きの際にご確認ください。

上記(a)～(d)の諸経費以外にも学部や学科等によりその他の費用が発生する場合があります。

詳細は入学手続きの際にご確認ください。

## 16. 入学料・授業料の減免，奨学金及び徴収猶予等

(1) 入学料・授業料減免及び給付奨学金について（留学生を除く）

大学等における修学の支援に関する法律に基づく「高等教育の修学支援新制度」において，住民税非課税世帯及びこれに準ずる世帯等は入学料・授業料の減免と給付奨学金の２つの支援を受けることができます。また，子ども３人以上を扶養する多子世帯は入学料・授業料無償化の対象となります。

高等学校等を通じて日本学生支援機構（JASSO）給付奨学金予約採用の申請を行うか，入学手続き時に申請を行ってください。詳細は合格者に対して後日送付する本学の「入学手続要項」をご確認ください。

① 進学する前年に高等学校等を通じて JASSO 給付奨学金に申請し，予約採用候補者となった方

入学手続時に入学料及び授業料減免申請を受け付けます。入学手続時に入学料を納入する必要はありません。入学後に給付奨学金の進学届の手続きを行ってください。

② 高等学校等で JASSO 給付奨学金の申請をしていない方

入学手続時に入学料及び授業料減免申請を受け付けます。入学手続時に入学料を納入する必要はありません。入学後に給付奨学金の新規申請手続きを行ってください。

高等教育の修学支援新制度の詳細については，下記 URL より各種ホームページの内容を必ず確認してください。

文部科学省ホームページ
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.html
日本学生支援機構奨学金ホームページ
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html
日本学生支援機構進学資金シミュレーター
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html

(2) 入学料の徴収猶予について

学業成績優秀で経済的に困難なため納付期限までに入学料の納付が困難な方に対しては，本人の申請に基づき選考の上，入学料の徴収を猶予することがあります。

窓口：学生支援チーム授業料免除担当　TEL 059-231-9678（9:00～17:00）

(3) 奨学金について

学業成績及び人物ともに優れた学生で，経済的理由により修学が困難な方には，日本学生支援機構，地方公共団体及び民間育英団体の奨学金制度があります。

日本学生支援機構奨学金は，高等学校等で申し込む「予約採用」のほか，大学進学後に申し込むことが可能ですので，詳細は三重大学ホームページをご確認ください。
https://www.mie-u.ac.jp/life/support/syougaku/index-application.html

## 17. 追加合格，欠員補充第２次募集

⑴ 追加合格

令和９年３月27日㈯までに，入学手続完了者が入学定員に満たない学部・学科等においては，追加合格により欠員を補充します。対象は，いずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者です。

追加合格該当者には，令和９年３月28日㈰から３月31日㈬までの間に，当該学部から電話により出願確認票に記載の連絡先にお知らせします。不合格となった場合でも，連絡の取れる状態にしてください。

追加合格者の入学手続は，電話連絡した際にお知らせします。

なお，既に他の国公立大学へ入学手続を完了した者は，これを取り消して本学へ入学手続を行うことはできません。

⑵ 欠員補充第２次募集

追加合格により欠員を補充しても，入学手続完了者が入学定員に満たない場合，欠員補充のための第２次募集を実施します。

欠員補充第２次募集に出願できるのは，下記①～②のいずれかに該当する者です。

①大学入学共通テストを受験し，「後期日程」の合格者発表がなされた時点で，いずれの国公立大学にも合格していない者（いずれの国公立大学にも出願していない者を含む）

②大学入学共通テストを受験し，「後期日程」の合格者発表がなされた時点で一つ又は二つの国公立大学に合格していたが，第２次募集出願時にいずれの国公立大学にも入学手続を行っていない者

また，この欠員補充第２次募集に出願することができるのは，一つの大学・学部のみです。

欠員補充第２次募集の出願後，他の国公立大学へ入学手続を行った場合は，受験をしても入学許可は得られません。

追加合格，欠員補充第２次募集の実施状況等については，本学受験生応援サイトでお知らせします。

〈URL〉 https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/

## 18. 一般選抜実施状況

過去５年間の一般選抜実施状況［志願者数・受験者数・合格者数・辞退者数・入学者数］については，本学受験生応援サイトの「01 受験をお考えの方へ」>「さらに詳しく知りたい」の順に進み，「入試データ（志願者・合格者・平均点一覧等を掲載）・成績開示）」にて掲載しています。

〈URL〉 https://www.mie-u.ac.jp/exam/data/general/

# 19. 入試成績の開示について

⑴ 開示内容

| 開示項目 | 開　　示　　内　　容 |
|---|---|
| 入学試験<br>個人成績 | 開示内容<br>大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点と合計点（本学の配点に換算した点数），個別学力検査の教科ごとの得点と合計点及び総合得点（大学入学共通テスト成績と個別学力検査の合計点）並びに総合得点の順位(注)を開示します。<br>医学部医学科の２段階選抜における第１段階選抜の成績開示については，第１段階選抜不合格者に対してのみ，大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点と合計点（本学の配点に換算した点数）及び順位(注)を開示します。<br>また，面接の評価は，教育学部及び医学部受験者のみ開示します。なお，教育学部の「教員志望確認書」の評価については，開示しません。<br>合格者は，合格した学科（課程・コース）等の総合得点，不合格者は第１志望の学科（課程・コース）等の総合得点を開示します。<br>なお，いずれの選抜においても，試験を全部又は一部欠席した場合は開示しません。<br>（注）順位<br>正規合格者については，当該学科（課程・コース）等の順位を「Ａ」（上位１/３）「Ｂ」（中位１/３）「Ｃ」（下位１/３）でランクを付けて開示します。<br>なお，合格者が10名に満たない場合は，順位は開示しません。<br>不合格者については，第１志望の学科（課程・コース）等の順位を正規合格者の合格最低点から20点刻みでアルファベット順にランクを付けて開示します。<br>追加合格者及び追試験受験者の順位については，開示しません。 |

⑵ 開示の方法

以下のとおり三重大学入試成績開示オンライン申請サイトでの申請を受け付けます。

① 申請期間

令和９年４月中旬～５月末

② 申請方法

三重大学入試成績開示オンライン申請サイトから受験者本人が申請してください。

③ 申請に必要な書類

本学受験票

※成績開示申請の際，本学受験票が必要ですので，紛失しないように大切に保管してください。

本学受験票を紛失した場合は，４月中に三重大学「インターネット出願サイト」で受験票を再発行してください。再発行できない場合は三重大学学務部入試チームに相談してください。

④ 交付の方法

開示通知書は，本学より郵送（簡易書留郵便）にて交付します。

⑤ 交付時期

令和９年６月末頃に発送します。

⑥ 成績開示に係る料金について

成績開示を希望する場合は，別途成績開示手数料（郵送代含む）が必要となります。

詳細については，令和９年３月末頃に本学受験生応援サイトの「01 受験をお考えの方へ」>「さらに詳しく知りたい」の順に進み，「入試データ（志願者・合格者・平均点一覧等を掲載）・入試成績開示」にて掲載予定です。成績開示を希望する場合は，必ず確認の上，手続きを行ってください。

「入試成績開示」〈URL〉 https://www.mie-u.ac.jp/exam/data/disclosure/

## 20. その他

本学学生募集要項に明記されている内容や期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は，受験生応援サイト（〈URL〉　https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/）に対応の詳細を速やかに掲載します。

なお，不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は，三重大学学務部入試チーム（電話　０５９－２３１－９０６３）です。

## 21. 個人情報の利用目的について

⑴　本学における個人情報の利用

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用目的は次のとおりです。

①　入学者選抜に関わる業務で利用します。

②　入試成績の開示に関する業務で利用します。

③　検定料の返還が生じた際に関わる業務，その他志願者への連絡業務で利用します。

④　合格者の住所・氏名等を入学手続に関わる業務，その他志願者への連絡業務で利用します。

⑤　入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務並びに健康診断等の保健管理に関わる業務で利用します。

⑥　入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に関わる業務で利用します。

⑦　入学者選抜で取得した成績等の個人情報を，１年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に関わる業務で利用します。その他，一部の授業科目におけるクラス編成に利用する場合があります。

⑧　入学手続者の修学指導等に関わる業務に利用します。

⑨　個人が特定できない形で，統計処理等に付随する業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究及び広報活動等の業務で利用します。

⑩　（対象者かつ希望者のみ）障害等のある入学志願者との事前相談において取得した氏名，性別，生年月日，住所及び障害等に係る個人情報を，本学に入学した場合に限り修学支援業務で利用します。

⑵　独立行政法人大学入試センターへの個人情報の提供

国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため，合格者及び入学手続者の氏名，性別，生年月日，本学受験番号及び大学入学共通テストの受験番号が，独立行政法人大学入試センター及び合格者の併願先の国公立大学に提供されます。本学が取得した個人情報は，法で定められた場合を除き，本人の同意を得ることなく，上記以外の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

## 22. ノートパソコンの必携化

本学では情報教育の一環としてコンピュータを利用する授業が多く行われています。また，大学生活では，シラバス閲覧，履修登録から始まり，遠隔授業，レポート・プレゼンテーション資料の作成，インターネットの活用，ｅラーニングによる自習まで，日常的にパソコンを利用する必要があります。さらには，在学中に情報処理活用能力を身につけるには，パソコンの普段からの利活用が不可欠です。

本学では学部入学生は個人用ノートパソコン必携となっており，入学の際にはノートパソコンを準備又は購入いただくことになりますので，あらかじめご了承ください。持参可能なノートパソコンをすでにお持ちの場合は，新規購入は必須ではありません。

また，本学ではMicrosoft社との包括ライセンス契約により，在学中は無料でOfficeソフト（Word，Excel，PowerPoint，OneNoteなど），Office365のクラウドサービス，Windowsライセンスを利用可能です。したがって，Office付のノートパソコンやOfficeライセンスをご用意いただく必要はありません。

# Ⅱ　学部別の事項

## １　人文学部

### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

**－このような人を求めます－**

●人間の文化，または，社会の動きやしくみに強い関心・好奇心をもっている人。
●積極的・人間的に生きるために，人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
●現代社会における諸問題を理解し，解決策を探求しようとする意欲がある人。
●そのために必要な基礎学力，論理的思考力，読解力，表現力を持つ人。
●これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

**－入学者選抜方針－**

●一般選抜前期日程

文化学科では，文化や社会を広く深く理解し考えるために必要な総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を課すとともに，個別学力検査（英語及び国語）を課し，論理的思考力・読解力・表現力を審査します。

法律経済学科では，総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を課すとともに，個別学力検査（英語及び国語）を課し，論理的思考力・読解力・表現力を審査します。

●一般選抜後期日程

文化学科では，総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を課し，その中でも特に国語，地理歴史・公民，外国語の基礎学力を重点的に評価して，入学後の専門的な学びに必要な論理的思考力や表現力を審査します。

法律経済学科では，総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を課し，その中でも特に国語，外国語の基礎学力を重点的に評価して，入学後の専門的な学びに必要な論理的思考力・読解力・表現力を審査します。

―各選抜方法における学力の３要素の評価方法―

人文学部では，次表のとおり学力の３要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し，「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

＜人文学部＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ① | | ② | | | ③ |
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | | |
| | 調査書 | | | | | | (総合判定の参考) |
| 後期日程 | 調査書 | | | | | | (総合判定の参考) |

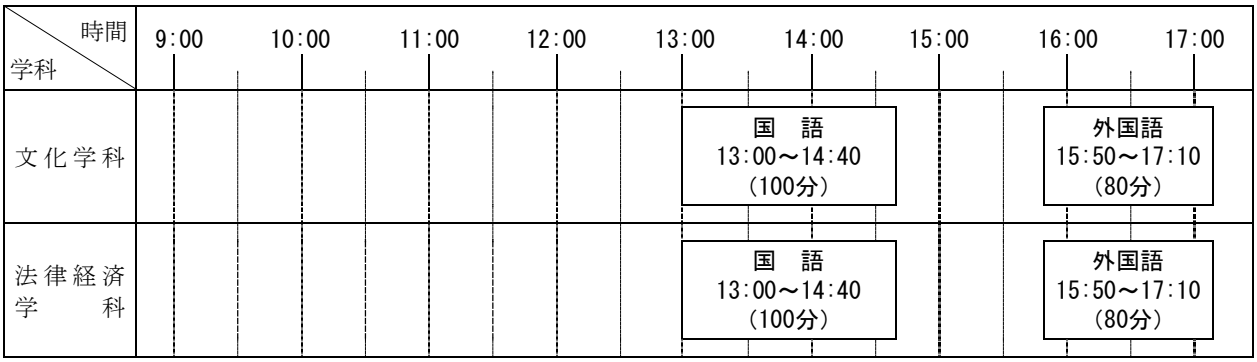
## 〈前 期 日 程〉

### 1　募集人員

| 学　　科 | 募集人員 |
|---|---|
| 文　化　学　科 | ６７名 |
| 法 律 経 済 学 科 | １００名 |
| 計 | １６７名 |

### 2　試験時間割

【２月25日㈭】




### 3　志望方法

文化学科，法律経済学科のいずれかの学科を選び，出願してください。

志望学科は，第１志望のみとします。

### 4　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，**本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません**。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| 学　　科 | 教科 | 科　　目　　名　　等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 文 化 学 科 | 国 | 国 | |
| | 地歴 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」から1又は2 ｝から２ | |
| | 公民 | 「公，倫」・「公，政経」から1 | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 理 | 「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目又は７教科８科目〕 | |
| 法律経済学科 | 国 | 国 | |
| | 地歴 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」から1又は2 ｝から３ | |
| | 公民 | 「公，倫」・「公，政経」から1 | |
| | 理 | 「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1又は2 | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目又は７教科８科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 5　個別学力検査の実施教科・科目等

| 学　　科 | 教科等 | 科　　目　　名　　等 |
|---|---|---|
| 文 化 学 科 | 国語 | 現代の国語・言語文化 |
| | 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| 法律経済学科 | 国語 | 現代の国語・言語文化 |
| | 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 6　大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| 学　　科 | 試験の区分 | 国　語 | 地　理<br>歴　史 | 公　民 | 数　学 | 理　科 | 外国語 | 情報 | 配　点<br>合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文 化 学 科 | 共 通 テ ス ト | 200 | *200<br>*100 | *100 | 200 | 100 | 200 | 30 | 930 |
| | 個別学力検査 | 300 | | | | | 300 | | 600 |
| | 計 | 500 | *200<br>*100 | *100 | 200 | 100 | 500 | 30 | 1530 |
| 法律経済学科 | 共 通 テ ス ト | 200 | *200<br>*100 | *100 | 200 | *200<br>*100 | 200 | 50 | 950 |
| | 個別学力検査 | 300 | | | | | 300 | | 600 |
| | 計 | 500 | *200<br>*100 | *100 | 200 | *200<br>*100 | 500 | 50 | 1550 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 7　個別学力検査の採点・評価基準

| 学　　科 | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 文 化 学 科<br>法律経済学科 | 国　　語 | 試験範囲は「現代の国語」・「言語文化」とし，高等学校学習指導要領に照らして，近現代の文章と古文・漢文から出題します。総合的な読解力・文章表現力に基づいた，大学での学びに必要な，論理的・文学的文章を理解し，その内容を表現する能力があるかどうかを評価します。また，語彙・文字・文法・文学に関する知識等も総合的に評価します。 |
| 文 化 学 科<br>法律経済学科 | 外　国　語 | 「英語」の出題範囲は英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ，論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲであり，その範囲内での総合的英語力の達成度を採点・評価の対象とします。総合的英語力とは幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言います。したがって，本学の英語試験はマークシート方式の試験では測ることが難しい総合的な読解力や表現力の達成度を主な採点・評価基準とします。 |

## 8　合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 人　文　学　部 | 同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とします。 |

## 〈後 期 日 程〉

### 1　募集人員

| 学　　科 | 募集人員 |
|---|---|
| 文　化　学　科 | １６名 |
| 法 律 経 済 学 科 | ３３名 |
| 計 | ４９名 |

### 2　試験時間割

共通テストのみを課します。個別学力検査は実施しません。

### 3　志望方法

文化学科，法律経済学科のいずれかの学科を選び，出願してください。

志望学科は，第１志望のみとします。

### 4　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，**本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません**。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| 学　科 | 教科 | 科　目　名　等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 文 化 学 科 | 国 | 国 | |
| | 地歴<br>公民 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」から1又は2<br>「公，倫」・「公，政経」から1 } から２ | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 理 | 「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目又は７教科８科目〕 | |
| 法律経済学科 | 国 | 国 | |
| | 地歴<br>公民<br>理 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」から1又は2<br>「公，倫」・「公，政経」から1<br>「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1又は2 } から３ | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目又は７教科８科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

### 5　個別学力検査の実施教科等

| 学　科 | 教　科　等 |
|---|---|
| 文 化 学 科 | 調査書 |
| 法律経済学科 | 調査書 |

## 6　大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| 学　科 | 試験の区分 | 国　語 | 地　理<br>歴　史 | 公　民 | 数　学 | 理　科 | 外国語 | 情報 | | 調査書等 | 配　点<br>合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 文化学科 | 共通テスト | 200 | *200<br>*100 | *100 | 40 | 30 | 200 | 30 | | | 700 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | | (#3) | (#3) |
| | 計 | 200 | *200<br>*100 | *100 | 40 | 30 | 200 | 30 | | (#3) | (#3)700 |
| 法律経済学科 | 共通テスト | 200 | *40<br>*20 | *20 | 40 | *40<br>*20 | 200 | 20 | | | 520 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | | (#3) | (#3) |
| | 計 | 200 | *40<br>*20 | *20 | 40 | *40<br>*20 | 200 | 20 | | (#3) | (#3)520 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 7　個別学力検査の採点・評価基準

| 学　科 | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 文化学科 | 調　査　書 | 合否ラインに同点で並んだ場合，調査書を総合的に評価し順位をつけます。 |
| 法律経済学科 | 調　査　書 | 合否ラインに同点で並んだ場合，調査書を総合的に評価し順位をつけます。 |

## 8　合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 人　文　学　部 | 同点者は同順位とします。ただし，合否ライン上で総合得点が同点の場合は，調査書を総合的に評価し順位をつけます。 |

# ２　教育学部

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

**－このような人を求めます－**

●子どもと教育に関心を持ち，将来，教員になりたいと思っている人（関心・意欲・態度）
●教育に関する専門的な知識・技能を学修する上で必要となる基礎学力を有している人（知識・理解）
●ものごとを多様な視点から捉え，論理的に考えようとする人（思考・判断）
●自分の考えを的確に表現し，伝えようとする人（技能・表現）

**－入学者選抜方針－**

●一般選抜前期日程

志望するコース・専攻で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために，大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を課します。また，論理的思考力・判断力，発想力，読解力，表現力，関心，意欲及び各コースへの適性等を見るために，個別学力検査（国語，数学又は英語から２教科の筆記試験，実技試験及び調査書等）を課します。

●一般選抜後期日程

志望するコース・専攻で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために，大学入学共通テストを課します。また，論理的思考力・判断力，発想力，表現力，関心・意欲・態度及び各コースへの適性等を見るために，個別学力検査（実技試験，小論文，面接及び調査書等）を課します。

―各選抜方法における学力の３要素の評価方法―

教育学部では，次表のとおり学力の３要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し，「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。また，「○」の後に（）で記載した内容は，特に（）の内容が重点評価対象項目であることを示しています。

**＜教育学部＞**

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ① | | ② | | | ③ |
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 実技 | | ○ | ○＊ | | ○＊ | |
| | 教員志望確認書 | | | | | | ○（主体性を評価対象とします） |
| | 競技成績等調書 | (総合判定の参考) | | | | | |
| 後期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 小論文 | | | ○ | | ○ | |
| | 面接 | | | ○＊ | | ○＊ | ○（主体性を評価対象とします） |
| | 教員志望確認書 | | | | | | ○（主体性を評価対象とします） |
| | 競技成績等調書 | (総合判定の参考) | | | | | |

＊一部のコースに限る

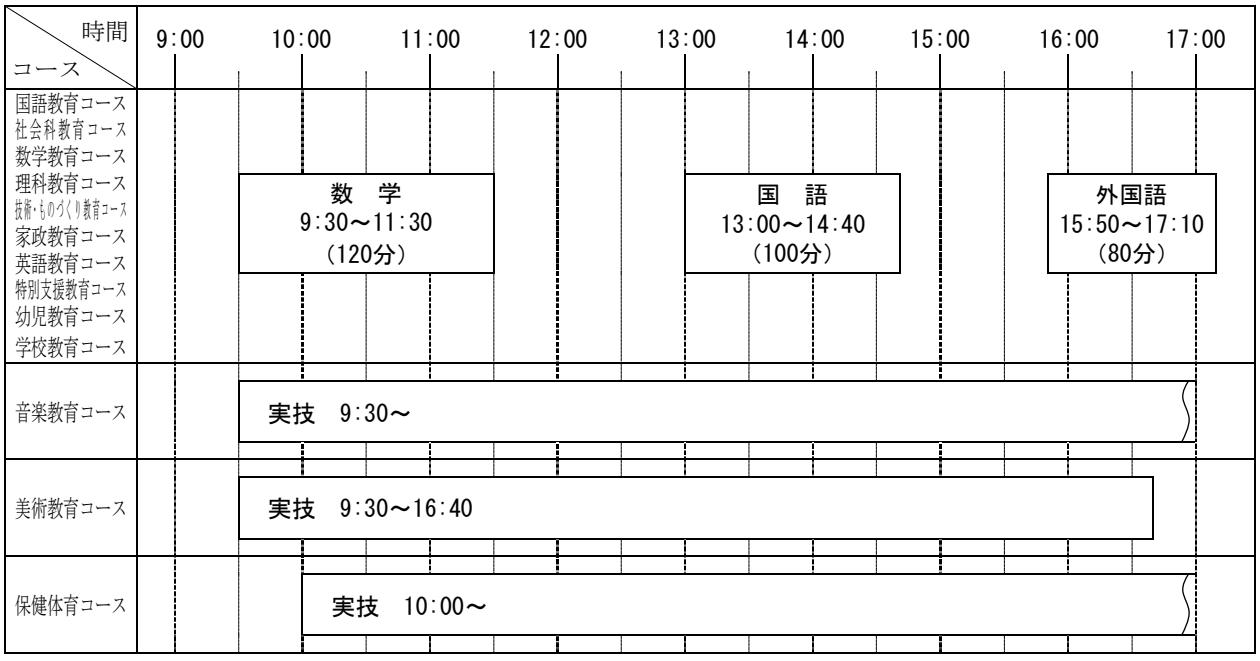
## 〈前 期 日 程〉

### 1　募集人員

| コース・選修・専攻 | | 募集人員 | コース・選修・専攻 | | 募集人員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 国語教育コース | 初等教育選修 | １１名 | 保健体育コース | 初等教育選修 | ９名 |
| | 中等教育選修 | ７名 | | 中等教育選修 | ６名 |
| 社会科教育コース | 初等教育選修 | ８名 | 技術・ものづくり教育コース | 初等教育選修 | ５名 |
| | 中等教育選修 | ５名 | | 中等教育選修 | ５名 |
| 数学教育コース | 初等教育選修 | １１名 | 家政教育コース | 初等教育選修 | ５名 |
| | 中等教育選修 | １０名 | | 中等教育選修 | ５名 |
| 理科教育コース | 初等教育選修 | １０名 | 英語教育コース | 初等教育選修 | ６名 |
| | 中等教育選修 | ９名 | | 中等教育選修 | ７名 |
| 音楽教育コース | 初等教育選修 | ７名 | 特別支援教育コース | | １１名 |
| | 中等教育選修 | ２名 | 幼児教育コース | | １０名 |
| 美術教育コース | 初等教育選修 | ６名 | 学校教育コース | 教育学専攻 | ７名 |
| | 中等教育選修 | １名 | | 教育心理学専攻 | ７名 |
| | | | 計 | | １７０名 |

### 2　試験時間割

【２月25日㈭】




### 3　志望方法

#### ⑴　併願可能な課程・コース

学校教育教員養成課程の各コース（音楽教育，美術教育及び保健体育コースについては，「（２）第１志望のみのコース」を参照。）から，最大で第３志望まで出願することができます。コースについては，第１志望から第３志望までに同じコースを複数回志望することはできません。

また，国語，社会科，数学，理科，技術・ものづくり，家政，英語の各教育コースでは，コース内で初等と中等教育選修のいずれか，もしくは両方を選択して，出願することができ，学校教育コースは，教育学専攻と教育心理学専攻のいずれか，もしくは両方を選択することができます。(最大で３コース６つの教育選修・専攻の併願が可能です。ただし，後述する「出願上の留意事項」に注意してください。)

※コースや選修を複数選択することによって，大学入学共通テストと個別学力検査の総得点が変わるなど合否判定に影響がでることはありません。

【志望のしかたの例と合否判定方法（参考)】

例１　第１志望コース：国語教育コース（初等教育選修のみ）
　　第２志望コース：社会科教育コース（初等教育選修のみ）
　　第３志望コース：学校教育コース（教育学専攻のみ）

上記の内容で出願した場合，以下の①～③の順で合否判定が行われ，合格となった時点で判定は終了します。

| 判定順序 | コース | 選修・専攻 | 合否判定 | |
|---|---|---|---|---|
| ① | 国語教育 | 初等教育 | 合判定 | 国語教育コース（初等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ② | 社会科教育 | 初等教育 | 合判定 | 社会科教育コース（初等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ③ | 学校教育 | 教育学専攻 | 合判定 | 学校教育コース（教育学専攻）合格 |
| | | | 否判定 | 不合格 |

例２　第１志望コース：理科教育コース（中等教育選修→初等教育選修）
　　第２志望コース：数学教育コース（中等教育選修→初等教育選修）
　　第３志望コース：家政教育コース（中等教育選修→初等教育選修）

上記の内容で出願した場合，以下の①～⑥の順で合否判定が行われ，合格となった時点で判定は終了します。

| 判定順序 | コース | 選修・専攻 | 合否判定 | |
|---|---|---|---|---|
| ① | 理科教育 | 中等教育 | 合判定 | 理科教育コース（中等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ② | 理科教育 | 初等教育 | 合判定 | 理科教育コース（初等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ③ | 数学教育 | 中等教育 | 合判定 | 数学教育コース（中等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ④ | 数学教育 | 初等教育 | 合判定 | 数学教育コース（初等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ⑤ | 家政教育 | 中等教育 | 合判定 | 家政教育コース（中等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ⑥ | 家政教育 | 初等教育 | 合判定 | 家政教育コース（初等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | 不合格 |

例３　第１志望コース：学校教育コース（教育学専攻→教育心理学専攻）
第２志望コース：英語教育コース（初等教育選修→中等教育選修）
第３志望コース：特別支援教育コース
上記の内容で出願した場合，以下の①～⑤の順で合否判定が行われ，合格となった時点で判定は終了します。

| 判定順序 | コース | 選修・専攻 | 合否判定 | |
|---|---|---|---|---|
| ① | 学校教育 | 教育学専攻 | 合判定 | 学校教育コース（教育学専攻）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ② | 学校教育 | 教育心理学専攻 | 合判定 | 学校教育コース（教育心理学専攻）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ③ | 英語教育 | 初等教育 | 合判定 | 英語教育コース（初等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ④ | 英語教育 | 中等教育 | 合判定 | 英語教育コース（中等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ⑤ | 特別支援教育 | ― | 合判定 | 特別支援教育コース合格 |
| | | | 否判定 | 不合格 |

出願上の留意事項

| コース | 出願上の留意事項 | 個別学力検査における受験教科の組合せ | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 国語と数学 | 数学と外国語 | 国語と外国語 |
| 国語教育コース | 左記のコースのうちから，**最大第３志望まで**併願できます。<br><br>なお，個別学力検査における受験教科の組合せによっては，志望できないコースがありますので，右に示す受験教科の組合せに留意してください。 | ○ | ×「注1」 | ○ |
| 社会科教育コース | | ○ | ○ | ○ |
| 数学教育コース | | ○ | ○ | ×「注2」 |
| 理科教育コース | | ○ | ○ | ×「注2」 |
| 技術・ものづくり教育コース | | ○ | ○ | ×「注2」 |
| 家政教育コース | | ○ | ○ | ○ |
| 英語教育コース | | ×「注3」 | ○ | ○ |
| 特別支援教育コース | | ○ | ○ | ○ |
| 幼児教育コース | | ○ | ○ | ○ |
| 学校教育コース | | ○ | ○ | ○ |

（○は選択できる，×は選択できないことを示します。）

「注」個別学力検査における受験教科について

1．「国語教育コース」を第１志望，第２志望，第３志望のいずれかで志望する場合は，選択受験する２教科のうち１教科は「国語」での受験が必須となります。
2．「数学教育コース」，「理科教育コース」及び「技術・ものづくり教育コース」を，第１志望，第２志望，第３志望のいずれかで志望する場合は，選択受験する２教科のうち１教科は「数学」での受験が必須となります。
3．「英語教育コース」を第１志望，第２志望，第３志望のいずれかで志望する場合は，選択受験する２教科のうち１教科は「外国語」での受験が必須となります。

### ⑵ 第１志望のみのコース

学校教育教員養成課程の音楽教育，美術教育及び保健体育の各コースでは，コース内で初等と中等教育選修のいずれか，もしくは両方を選択して，出願することになります。

| コース | 出願上の留意事項 | 個別学力検査 |
|---|---|---|
| 音楽教育コース | **第１志望のみ**となります。他のコース等との併願はできません。 | 実技 |
| 美術教育コース | **第１志望のみ**となります。他のコース等との併願はできません。 | 実技 |
| 保健体育コース | **第１志望のみ**となります。他のコース等との併願はできません。 | 実技 |

※選修を複数選択することによって，大学入学共通テストと個別学力検査の総得点が変わるなど合否判定に影響がでることはありません。

【志望のしかたの例と合否判定方法（参考)】
第１志望：音楽教育コース（中等教育選修→初等教育選修）
上記の内容で出願した場合，以下の①→②の順で合否判定が行われ，合格となった時点で判定は終了します。

| 判定順序 | コース | 選修・専攻 | 合否判定 | |
|---|---|---|---|---|
| ① | 音楽教育 | 中等教育 | 合判定 | 音楽教育コース（中等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ② | 音楽教育 | 初等教育 | 合判定 | 音楽教育コース（初等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | 不合格 |

### ４ 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，**本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません。**

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| コース | 教科 | 科目名等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 国語教育コース<br>社会科教育コース<br>数学教育コース<br>理科教育コース<br>保健体育コース<br>技術・ものづくり教育コース<br>家政教育コース<br>英語教育コース<br>特別支援教育コース<br>幼児教育コース<br>学校教育コース | 国 | 国 | |
| | 地歴 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」から1又は2 | から１又は２ |
| | 公民 | 「公，倫」・「公，政経」から1 | |
| | 理 | 【地歴，公民から１科目選択した場合】<br>「物」・「化」・「生」・「地」から2 | |
| | | 【地歴，公民から２科目選択した場合】<br>「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1 | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目又は７教科８科目〕 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 音楽教育コース<br>美術教育コース | 国 | 国 | |
| | 地歴 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」 } から１ | |
| | 公民 | 「公，倫」・「公，政経」 | |
| | 理 | 「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1 | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | 〔６教科７科目〕 | | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## ５　個別学力検査の実施教科・科目等

| コース | 教科等 | 科目名等 |
|---|---|---|
| 国語教育コース | 国語 | 現代の国語，言語文化 |
| | 数学 | 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は<br>「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」 } １教科 |
| | 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| 社会科教育コース<br>家政教育コース<br>特別支援教育コース<br>幼児教育コース<br>学校教育コース | 国語 | 現代の国語，言語文化 |
| | 数学 | 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は<br>「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」 } ２教科 |
| | 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| 数学教育コース<br>理科教育コース<br>技術･ものづくり教育コース | 国語 | 現代の国語，言語文化 } １教科 |
| | 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| | 数学 | 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」 |
| 英語教育コース | 国語 | 現代の国語，言語文化 |
| | 数学 | 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は<br>「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」 } １教科 |
| | 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| 音楽教育コース | 実技 | |
| 美術教育コース | 実技 | |
| 保健体育コース | 実技 | |
| 全コース共通 | 調査書等 | 教員志望確認書（出願時に提出） |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## ６　大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| コース | 試験の区分 | 国語 | 地理歴史 | 公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 情報 | 実技 | 調査書等 | 配点合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国語教育コース | 共通テスト | 100 | *150（50×3） | | | 100 | 100 | 25 | | | 475 |
| | 個別学力検査 | 200 | | | | *200 | *200 | | | (＃1) | (＃1)<br>400 |
| | 計 | 300 | *150（50×3） | | | 100<br>*300 | 100<br>*300 | 25 | | (＃1) | (＃1)<br>875 |
| 社会科教育コース<br>家政教育コース<br>特別支援教育コース<br>幼児教育コース<br>学校教育コース | 共通テスト | 100 | *150（50×3） | | | 100 | 100 | 25 | | | 475 |
| | 個別学力検査 | *200 | | | | *200 | *200 | | | (＃1) | (＃1)<br>400 |
| | 計 | 100<br>*300 | *150（50×3） | | | 100<br>*300 | 100<br>*300 | 25 | | (＃1) | (＃1)<br>875 |

| コース | 試験の区分 | 国語 | 地理歴史 | 公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 情報 | 実技 | 調査書等 | 配点合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 数学教育コース<br>理科教育コース<br>技術・ものづくり教育コース | 共通テスト | 100 | *150（50×3） | | | 100 | 100 | 25 | | | 475 |
| | 個別学力検査 | *200 | | | | 200 | *200 | | | (♯1) | (♯1)<br>400 |
| | 計 | 100<br>*300 | *150（50×3） | | | 300 | 100<br>*300 | 25 | | (♯1) | (♯1)<br>875 |
| 英語教育コース | 共通テスト | 100 | *150（50×3） | | | 100 | 100 | 25 | | | 475 |
| | 個別学力検査 | *200 | | | | *200 | 200 | | | (♯1) | (♯1)<br>400 |
| | 計 | 100<br>*300 | *150（50×3） | | | 100<br>*300 | 300 | 25 | | (♯1) | (♯1)<br>875 |
| 音楽教育コース | 共通テスト | 100 | *100 | | 100 | 100 | 100 | 50 | | | 550 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | 280 | (♯1) | (♯1)<br>280 |
| | 計 | 100 | *100 | | 100 | 100 | 100 | 50 | 280 | (♯1) | (♯1)<br>830 |
| 美術教育コース | 共通テスト | 100 | *100 | | 100 | 100 | 100 | 50 | | | 550 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | 250 | (♯1) | (♯1)<br>250 |
| | 計 | 100 | *100 | | 100 | 100 | 100 | 50 | 250 | (♯1) | (♯1)<br>800 |
| 保健体育コース | 共通テスト | 100 | *300（100×3） | | | 100 | 100 | 50 | | | 650 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | 260 | (♯1) | (♯1)<br>260 |
| | 計 | 100 | *300（100×3） | | | 100 | 100 | 50 | 260 | (♯1) | (♯1)<br>910 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 7　個別学力検査の採点・評価基準

| コース | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 国語教育コース<br>社会科教育コース<br>数学教育コース<br>理科教育コース<br>技術･ものづくり教育コース<br>家政教育コース<br>英語教育コース<br>特別支援教育コース<br>幼児教育コース<br>学校教育コース | 国語 | 高等学校学習指導要領（国語）に示された内容を踏まえた総合的な基礎学力を基盤とし，様々な課題の解決に向けて言語活動を創造し，実践することができるような能力を評価します。<br>具体的には，近代以降及び古典の文章等に対して，読解し思考し表現することができる力，また語彙・文字・文法・文学に関する知識等を総合的に評価します。 |
| | 数学 | 「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」，もしくは「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを，論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。 |
| | 外国語 | 「英語」の出題範囲は英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ，論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲであり，その範囲内での総合的英語力の達成度を採点・評価の対象とします。総合的英語力とは幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言います。したがって，本学の英語試験はマークシート方式の試験では測ることが難しい総合的な読解力と表現力の達成度を主な採点・評価基準とします。 |
| 音楽教育コース | 実技 | 演奏の習熟度を音楽性，技術，楽曲理解の面から総合的に評価します。<br>「注」課題又は範囲等については，39～41ページを参照してください。 |
| 美術教育コース | 実技 | 美術教育に必要とされる造形的基礎力を評価します。<br>「注」課題又は範囲等については，41ページを参照してください。 |
| 保健体育コース | 実技 | 各運動種目の基礎的能力を評価します。<br>「注」課題又は範囲等については，41ページを参照してください。 |
| | 調査書等 | 「競技成績等調書」によって競技歴をみます。 |

| コース | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 全 コ ー ス 共 通 | 調 査 書 等 | 「教員志望確認書」を総合評価として利用します。 |

## ８　合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 教　育　学　部 | ・同点者は同順位とし，その順位が志望するコース・選修の合格者の最下位である場合は，大学入学共通テストの得点が上位の受験者を合格とします。大学入学共通テストの得点も同点の場合は，その順位の者をすべて合格者とします。<br>・総合得点の高い者から，志望順に合否判定をします。<br>・音楽教育コース，美術教育コース，保健体育コースについては，実技の最低基準点を設けています。<br>・教員志望確認書の評価によっては総合得点の順位に関わらず不合格とすることがあります。 |

## ９　実技検査の課題又は範囲等

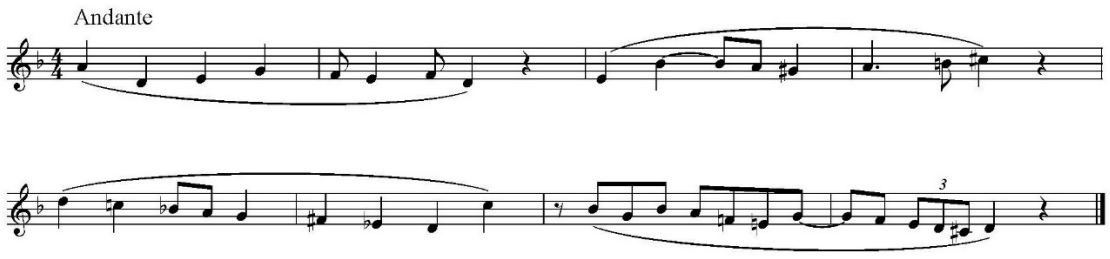
ア．前期日程

【音楽教育コース】

初等教育選修と中等教育選修の試験内容は同じです。下記のⅠ，Ⅱ，Ⅲを必ず受験してください。Ⅲについては，Ａ・Ｂ・Ｃのうちからいずれか１つを選択して受験してください。（Ⅲで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また，卒業研究は声楽・器楽（ピアノ）・作曲・音楽教育の中からの選択になります。）なお，出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。

Ⅰ　新曲視唱

8小節程度の新曲視唱を1曲課します。予見は1分間です。予見終了後，ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。




Ⅱ　実技・共通

次の①と②の両方を受験してください。

①声　楽

「浜辺の歌」（林古渓 作詞，成田為三 作曲）の1番を歌唱してください。歌唱は暗譜でなくてもかまいませんが，その場合は各自が楽譜を用意してください。

なお，調性は以下の指定された調の中から選択することとし，選択した調性によるピアノ伴奏譜を1ページの大きさＡ4判にコピーし，見開きになるように横一連で貼り付け，出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。

出版社：音楽之友社，全音楽譜出版社，カワイ出版社のいずれか

調　性：ヘ長調，変イ長調

②ピアノ

Ｊ．Ｓ．バッハ作曲「二声のインヴェンション」の中から任意の１曲を演奏してください。演奏は暗譜でなくてもかまいませんが，その場合は各自で楽譜を用意してください。反復記号がある場合は省略して演奏してください。

「注」

(1)　試験当日の声楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。

(2)　ピアノで選択した曲の曲名（番号），調性を三重大学受験生応援サイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。

Ⅲ　実技・選択

次のＡ・Ｂ・Ｃの中から一つ選択して受験してください。

Ａ．声　楽

(a)，(b)の2曲のいずれかにより1曲を任意に選択し，暗譜・原語で歌唱してください。

なお，調性については指定された調の中から選択してください。

(a)　Se tu della mia morte（A.Scarlatti 作曲）ホ短調，ヘ短調，ト短調

(b)　Vittoria, mio core！（G.G.Carissimi 作曲）変ロ長調，ハ長調，ニ長調

「注」

(1)　試験当日の声楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。

(2)　声楽実技で選択した作曲者名，曲名，調性を三重大学受験生応援サイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。

(3)　選択した調性によるピアノ伴奏譜を1ページの大きさA4判にコピーし，見開きになるように横一連に貼り付け，出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。

Ｂ．ピアノ

5分程度の任意のピアノ曲を１曲各自選択（独奏曲とし，Ｊ．Ｓ．バッハの二声のインヴェンションは除く）し，暗譜で演奏してください。自作曲，弾き歌い，弾き語りも含みます。（実技・共通①声楽の曲を除く）反復記号がある場合は省略してください。

「注」

(1)　ピアノ実技で選択した作曲者名，曲名，調性，作品番号などの必要事項（多楽章の曲の場合は楽章も）を三重大学受験生応援サイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。

(2)　ピアノ実技の演奏楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに１部提出してください。

(3)　(2)の演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。

(4)　ピアノ実技において，演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが，その場合は演奏を途中で止めることがあります。

Ｃ．鍵盤楽器以外の器楽

5分程度の任意の1曲（自作曲も含む）を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含みます。反復記号がある場合は省略して演奏してください。楽器の範囲は次のとおりとします。

フルート，オーボエ，クラリネット（種類は問わない），サキソフォン（種類は問わない），バスーン，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，スネアドラム，マリンバ（ハ～４点ハの４オクターブ），バイオリン，ビオラ，チェロ，コントラバス，リコーダー（種類は問わない），アコースティックギター（種類は問わない），三味線，尺八，鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」
(1)　鍵盤楽器以外の器楽は，各自が選択した楽器名，曲名などの必要事項を三重大学受験生応援サイトに掲載予定の「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。なお，伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
(2)　鍵盤楽器以外の器楽において，演奏する楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに1部提出してください。
(3)　(2)の演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
(4)　鍵盤楽器以外の器楽の実技において，演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが，その場合は演奏を途中で止めることがあります。
(5)　長休符を含む楽曲を演奏する場合，試験では楽譜どおりの休符の長さにする必要はありません。適宜，休符を短くして演奏してください。
(6)　鍵盤楽器以外の器楽における楽器は原則として持参してください。

実技の選択表及び楽譜のコピーの提出について　　※Ⅰ，Ⅱ，Ⅲを必ず受験してください。

<table>
<tr><th colspan="3">共通</th><th colspan="2">選択</th></tr>
<tr><th rowspan="2">Ⅰ　新曲視唱</th><th colspan="2">Ⅱ　実技</th><th colspan="2" rowspan="2">Ⅲ　実技<br>（A・B・Cの中から一つ選択）</th></tr>
<tr><th>①声楽</th><th>②ピアノ</th></tr>
<tr><td rowspan="3">8小節程度の新曲視唱を１曲課します。<br>楽譜の提出なし</td><td rowspan="3">指定された日本語による歌曲を1曲歌唱する。（歌唱は暗譜でなくてもかまわないが，その場合は各自が楽譜を用意する。）<br>楽譜の提出2部（詳細は声楽の欄参照）</td><td rowspan="3">Ｊ．Ｓ．バッハ「二声のインヴェンション」から任意の１曲を演奏する。（演奏は暗譜でなくてもかまわないが，その場合は各自が楽譜を用意する。）<br>楽譜の提出なし</td><td>Ⅲを A．声楽で受験する場合</td><td>声楽で受験。<br>指定された歌曲から任意の１曲を暗譜・原語で歌唱する。<br>楽譜の提出2部　（詳細は上記のⅢA参照）</td></tr>
<tr><td>Ⅲを B．ピアノで受験する場合</td><td>自作曲，弾き歌い・弾き語り（共通・実技①声楽の曲を除く）も含む5分程度の任意のピアノ曲（独奏曲とし，Ｊ．Ｓ．バッハの二声のインヴェンションは除く）を1曲暗譜で演奏する。（反復記号は省略して演奏する。）<br>楽譜の提出1部　（詳細は上記のⅢB参照）</td></tr>
<tr><td>Ⅲを C．鍵盤楽器以外の器楽で受験する場合</td><td>自作曲，弾き歌い・弾き語りを含む5分程度の任意の1曲を暗譜で演奏する。（反復記号は省略して演奏する。）<br>楽譜の提出1部（詳細は上記のⅢC参照）</td></tr>
</table>

【美術教育コース】
素描試験を実施します。

「注」描画用具を持参する必要はありません。

【保健体育コース】
下記の運動種目の基礎的能力に関する実技検査。
［器械運動（マット運動），陸上競技（短距離走），球技（バスケットボール，バレーボール）］

「注」
(1)　屋内・屋外で運動のできる用意をしてください。
(2)　スパイクシューズ等の使用は認めません。
(3)　陸上競技（短距離走）は天候により立ち幅とびに変更する場合があります。
(4)　あらかじめ各自で傷害保険に加入してください。
(5)　あらかじめ各自で健康診断を受けてください。

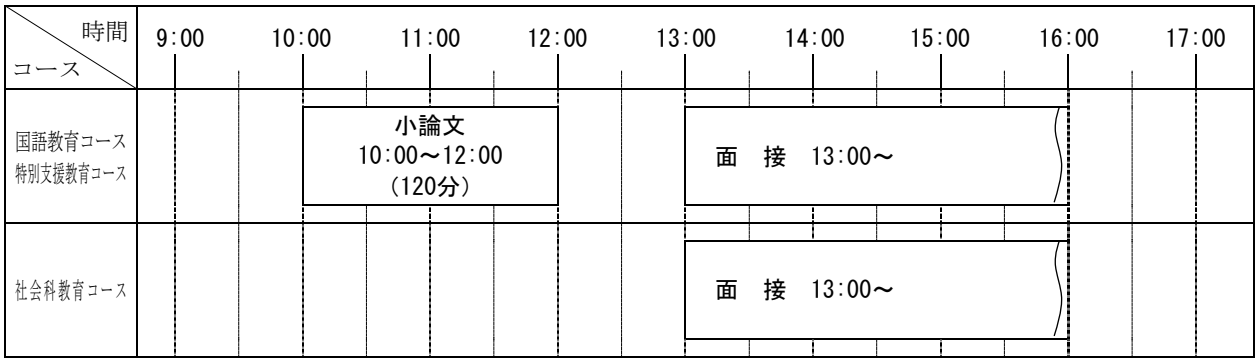
## 〈後 期 日 程〉

### 1　募集人員

| コース・選修 | | 募集人員 |
|---|---|---|
| 国語教育コース | 初等教育選修 | ３名 |
| | 中等教育選修 | ２名 |
| 社会科教育コース | 初等教育選修 | ２名 |
| | 中等教育選修 | ２名 |
| 特別支援教育コース | | ７名 |
| 計 | | １６名 |

### 2　試験時間割

【３月12日㈮】




### 3　志望方法

後期日程において学生を募集する，学校教育教員養成課程の国語教育コース，社会科教育コース，特別支援教育コースのうち，いずれかのコースを選び出願してください。

志望できるコースは，第１志望のみとなります。

| コース | 出願上の留意事項 |
|---|---|
| 国語教育コース | 左記の各コースについては，**第１志望のみ**の出願となり，他のコースとの併願はできません。 |
| 社会科教育コース | |
| 特別支援教育コース | |

※選修を複数選択することによって，大学入学共通テストと個別学力検査の総得点が変わるなど合否判定に影響がでることはありません。

【志望のしかたの例と合否判定方法（参考)】

第１志望：国語教育コース（中等教育選修→初等教育選修）

上記の内容で出願した場合，以下の①→②の順で合否判定が行われ，合格となった時点で判定は終了します。

| 判定順序 | コース | 選修・専攻 | 合否判定 | |
|---|---|---|---|---|
| ① | 国語教育 | 中等教育 | 合判定 | 国語教育コース（中等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | |
| ② | 国語教育 | 初等教育 | 合判定 | 国語教育コース（初等教育選修）合格 |
| | | | 否判定 | 不合格 |

## 4　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，**本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません**。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| コース | 教科 | 科目名等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 国語教育コース<br>特別支援教育コース | 国 | 国 | |
| | 地歴 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」から1又は2 | |
| | 公民 | 「公，倫」・「公，政経」から1 | から1又は2 |
| | 理 | 【地歴，公民から１科目選択した場合】 | |
| | | 「物」，「化」，「生」，「地」から2 | |
| | | 【地歴，公民から２科目選択した場合】 | |
| | | 「物基／化基／生基／地基」，「物」，「化」，「生」，「地」から1 | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 外 | 「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目又は７教科８科目〕 | |
| 社会科教育コース | 国 | 国 | |
| | 地歴 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」から1 | から２ただし，地歴又は公民を１以上含むこと |
| | 公民 | 「公，倫」・「公，政経」から1 | |
| | 理 | 「物基／化基／生基／地基」，「物」，「化」，「生」，「地」から1 | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」，「数Ⅱ，数B，数C」から1 | |
| | 外 | 「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔５教科５科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 5　個別学力検査の実施教科・科目等

| コース | 教科等 | 科目名等 |
|---|---|---|
| 国語教育コース<br>特別支援教育コース | 小論文<br>面接 | |
| 社会科教育コース | 面接 | |
| 全コース共通 | 調査書等 | 教員志望確認書（出願時に提出） |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 6　小論文の出題方針・内容

| コース | 出題方針・内容 |
|---|---|
| 国語教育コース | 国語・国語教育に関する課題について論述（1,000～1,200字程度）させ，思考力，表現力などを総合的に評価します。 |
| 特別支援教育コース | 今日的な教育・福祉・医療などに関わる課題を提示して論述（１問あたり800～1,200字程度）させ，思考力，判断力，表現力などを総合的に評価します。 |

## 7　大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| コース | 試験の区分 | 国語 | 地理歴史 | 公民 | 理科 | 数学 | 外国語 | 情報 | 小論文 | 実技 | 面接 | 調査書等 | 配点合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国語教育コース | 共通テスト | 150 | *150（50×3） | | | 100 | 100 | 25 | | | | | 525 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | 100 | | 100 | (＃1) | (＃1)200 |
| | 計 | 150 | *150（50×3） | | | 100 | 100 | 25 | 100 | | 100 | (＃1) | (＃1)725 |
| 社会科教育コース | 共通テスト | 100 | *200（100×2） | | | | 125 | 25 | | | | | 450 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | | | 100 | (＃1) | (＃1)100 |
| | 計 | 100 | *200（100×2） | | | | 125 | 25 | | | 100 | (＃1) | (＃1)550 |
| 特別支援教育コース | 共通テスト | 100 | *150（50×3） | | | 100 | 100 | 25 | | | | | 475 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | 200 | | 100 | (＃1) | (＃1)300 |
| | 計 | 100 | *150（50×3） | | | 100 | 100 | 25 | 200 | | 100 | (＃1) | (＃1)775 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 8　個別学力検査の採点・評価基準

| コース | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 国語教育コース | 小論文 | 思考力，表現力などを総合的に評価します。 |
| | 面接 | 志望の動機，勉学の意欲とともに，国語科に関する内容についての理解力や表現力などから総合的に評価します。 |
| 社会科教育コース | 面接 | 志望の動機，勉学の意欲とともに，社会科，地理歴史科，公民科に関する内容についての理解力，論理的思考力や表現力などから総合的に評価します。 |
| 特別支援教育コース | 小論文 | 思考力，判断力，表現力などを総合的に評価します。 |
| | 面接 | 特別支援教育に関する勉学の意欲などを問い，思考力や判断力を評価します。 |
| 全コース共通 | 調査書等 | 「教員志望確認書」を総合評価として利用します。 |

## 9　合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 教育学部 | ・同点者は同順位とし，その順位が志望するコース・選修の合格者の最下位である場合は，大学入学共通テストの得点が上位の受験者を合格とします。大学入学共通テストの得点も同点の場合は，その順位の者をすべて合格者とします。<br>・総合得点の高い者から，志望順に合否判定をします。<br>・国語教育コース，社会科教育コースについては，面接の評価によっては，総合点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。<br>・教員志望確認書の評価によっては総合点の順位にかかわらず，不合格とすることがあります。 |

# ３　医　学　部

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

**－このような人を育てます－**

医学部における教育に関する方針は，「医療に求められる使命感，倫理観，臨床判断力・実践力と医学・看護学研究を推進する創造的研究力を培い，人類の健康と福祉に貢献する医療人を育成する」ことです。

医学科では，基礎医学，社会医学，臨床医学の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち，コミュニケーション能力に優れ，幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力，自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力，あるいは地域及び国際社会における健康の増進，疾病の予防に寄与し，人類の保健，繁栄に貢献できる能力を養います。

看護学科では，人間の誕生から死に至るまでの，様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう，Heart（こころ）・Head（専門知識）・Hand（専門技術）を伸ばす教育を通して，広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。そして，倫理観と責任感を備え，協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち，地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

**－このような人を求めます－**

医学科では特に以下の人を求めます。

●医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
●入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
●困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
●地域医療への貢献に対する意識を持っている。

看護学科では特に以下の人を求めます。

●看護職者を目指すために必要な基礎学力を備え，論理的に物事を考えられる人。
●人の健康に関心が強く，看護の分野で社会に貢献する意志をもっている人。
●探求心と自立心をもって，主体的・協働的に課題に取り組める人。
●相手の立場を理解し，柔軟に物事を考え，表現できる人。
●国際的な視野をもち，地域の医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

**－入学者選抜方針－**

●一般選抜前期日程

医学科では，大学入学共通テスト以外に大学入学共通テストだけでは不十分と思われる内容に関して個別学力検査を課し，両者の総合点で科学的，論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価します。面接で，医師としての適格性を判断することにより，アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

看護学科では，総合的基礎学力を重視し，目的意識を向上させ実現できる力を総合的に評価するために，大学入学共通テストと個別学力検査等（英語を必須とし，国語又は数学から１教科を選択の２教科の筆記試験，面接）を実施します。

●一般選抜後期日程

医学科では，大学入学共通テスト以外に大学入学共通テストだけでは不十分と思われる内容に関して個別学力検査を課し，両者の総合点で科学的，論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価します。面接で，医師としての適格性を判断することにより，アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

―各選抜方法における学力の３要素の評価方法―

医学部では，次表のとおり学力の３要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し，「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

＜医学部　医学科＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ① | | ② | | | ③ |
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 面接 | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| | 調査書 | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| 後期日程 | 小論文 | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| | 面接 | ○ | | ○ | | ○ | ○ |
| | 調査書 | ○ | | ○ | | ○ | ○ |

＜医学部　看護学科＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ① | | ② | | | ③ |
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | | |
| | 面接 | | | ○ | | ○ | ○ |
| | 調査書 | | | | | | (総合判定の参考) |

## 〈前 期 日 程〉

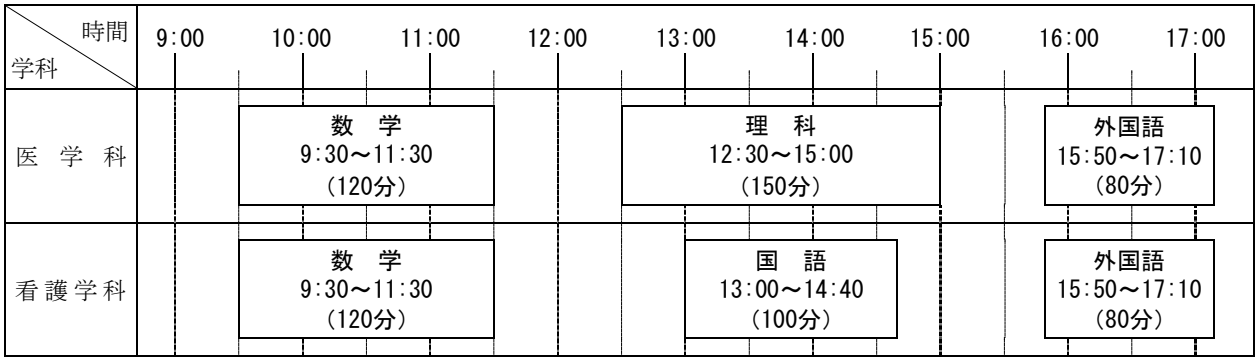
### １　募集人員

| 学　　科 | 募集人員 |
|---|---|
| 医　　学　　科 | ７０名※ |
| 看　護　学　科 | ５０名 |
| 計 | １２０名 |

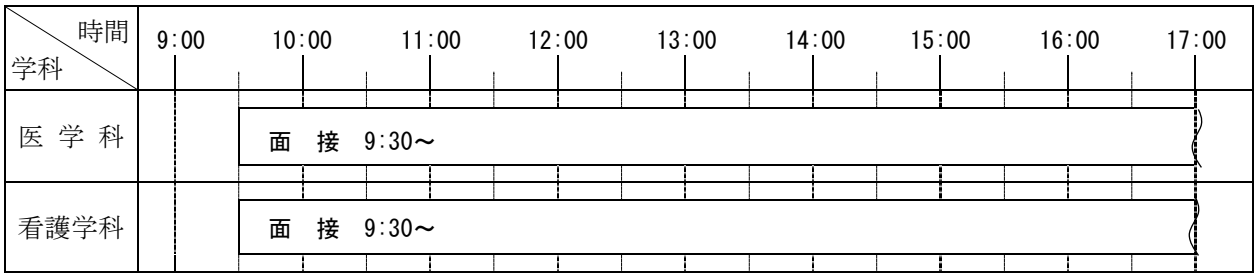
※三重県地域医療枠５名程度を含みます。

### ２　試験時間割

【２月25日(木)】



【２月26日㈮】




### 3　志望方法

医学科，看護学科のいずれかの学科を選び，出願してください。

志望学科は，第１志望のみとします。

なお，医学科は，一般枠と三重県地域医療枠に分かれており，第２志望まで出願できます。三重県地域医療枠の志望方法については，50ページを参照してください。

### 4　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，**本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません**。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| 学　科 | 教科 | 科　目　名　等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 医　学　科 | 国 | 国 | |
| | 地歴<br>公民 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」<br>「公，倫」・「公，政経」 } から１ | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 理 | 「物」・「化」・「生」から2 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

| 学　科 | 教科 | 科　目　名　等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 看　護　学　科 | 国 | 国 | |
| | 地歴<br>公民 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」<br>「地総／歴総／公」・「公，倫」・「公，政経」 } から１ | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 理 | 「物基／化基／生基／地基」(#2)・「物」・「化」・「生」から1 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科７科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

### 5　個別学力検査の実施教科・科目等

| 学　科 | 教科等 | 科　目　名　等 |
|---|---|---|
| 医　学　科 | 数学<br>理科<br>外国語<br>面接 | 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C<br>「物基・物」，「化基・化」，「生基・生」から2<br>英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |
| 看　護　学　科 | 国語<br>数学<br>外国語<br>面接 | 現代の国語，言語文化<br>数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C } から１<br>英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ |

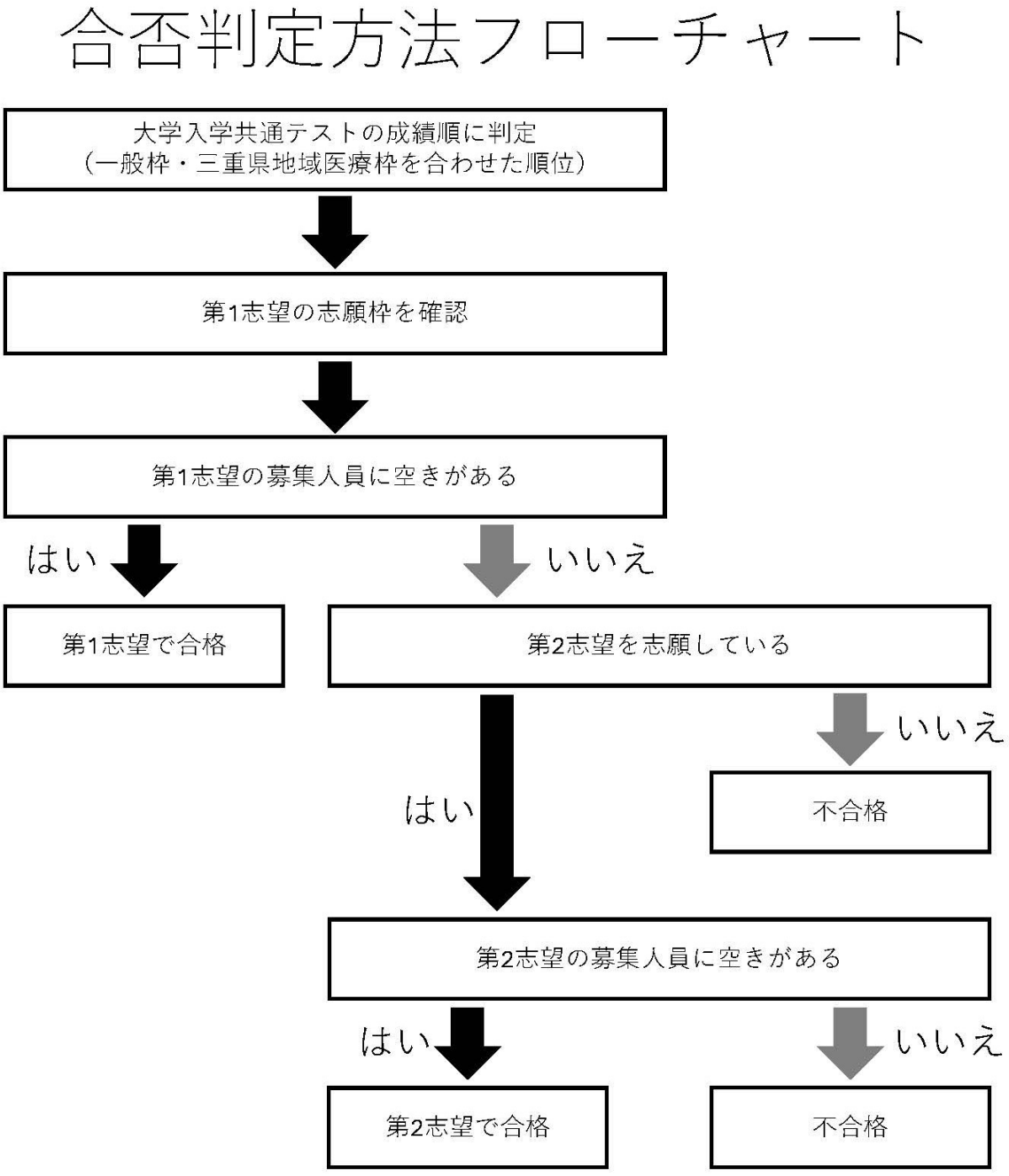
## ６　２段階選抜

①　医学部医学科では，志願者数が募集人員に対して次の倍率を超えた場合のみ実施します。
（倍率については，緩和することがあります。）

| 日程／学科 | 前期日程 | 後期日程 |
|---|---|---|
| 医 学 部 医 学 科 | ５倍 | １５倍 |

第１段階選抜は，大学入学共通テストの成績により行い，その合格者を対象に個別学力検査等を実施し，最終的な合格者を決定します。

なお，前期日程の第１段階選抜は，第１志望の志願枠を優先して選抜します。一般枠と三重県地域医療枠を併願した者で第１志望の志願枠で合格とならなかった場合に第２志望の志願枠での選考の対象となります。




※一般枠志願者，三重県地域医療枠志願者及び併願者を含め，すべての志願者を大学入学共通テストの成績順に順位付けして選考します。

② 発表方法

**前期日程・後期日程とも２月10日㈬17時頃に**，第１段階選抜合格者は受験票及び受験案内の印刷が可能となります（詳細はメールでお知らせします）。合格通知書および不合格通知書の送付は行いません。（第１段階選抜不合格者に対しては，入学検定料（17,000円）のうち13,000円を返還します。入学検定料返還請求に関しては「５.出願手続」の「（６）入学検定料の返還について」を参照して手続きしてください。）

なお，２段階選抜を実施しなかった場合は，前期日程・後期日程とも**２月10日㈬17時頃**に，受験票及び受験案内の印刷が全員可能となります（詳細はメールでお知らせします）。

氏名等に間違いがある場合には，学務部入試チームへ連絡してください。

※　２段階選抜実施の有無については，本学受験生応援サイトに掲載します。

## ７　大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| 学　科 | 試験の区分 | 国　語 | 地　理<br>歴　史 | 公　民 | 数　学 | 理　科 | 外国語 | 情報 | 面　接 | 配　点<br>合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医　学　科 | 共通テスト | 100 | *100 | | 100 | 200 | 100 | 50 | | 650 |
| | 個別学力検査 | | | | 200 | 200 | 200 | | 100 | 700 |
| | 計 | 100 | *100 | | 300 | 400 | 300 | 50 | 100 | 1350 |
| 看護学科 | 共通テスト | 150 | *150 | | 150 | 150<br>(#2) | 150 | 75 | | 825 |
| | 個別学力検査 | *150 | | | *150 | | 150 | | 100 | 400 |
| | 計 | 150<br>*300 | *150 | | 150<br>*300 | 150<br>(#2) | 300 | 75 | 100 | 1225 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## ８　得点調整

医学科受験者の各科目（物理，化学，生物）間で２０点以上の平均点差が生じた場合は，医学科受験者を対象として得点調整を行います。

看護学科受験者の国語と数学の教科間で２０点以上の平均点差が生じた場合は，看護学科受験者を対象として得点調整を行います。

なお，得点調整を行った場合，本学受験生応援サイトに掲載します。

## ９　個別学力検査の採点・評価基準

| 学　科 | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 医　学　科 | 数　学 | 「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。 |
| | 理科：物理 | 「物理基礎」・「物理」の学修における達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。 |
| | 理科：化学 | 「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。観察や実験に基づいて化学的な事物・現象を理解する力，化学の基本的な概念や原理・法則を活用して正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力と推察力を評価します。 |
| | 理科：生物 | 「生物基礎」・「生物」の基礎学力の達成度および理解度を採点・評価の対象とします。生物及び生命現象の特徴を深く理解するには，それらを遺伝子，細胞，組織，個体および群集レベルでとらえ，分類学，生態学，生理学，発生学，生化学，遺伝学，分子生物学に基づいた思考力を必要とします。それらの基礎的な概念の理解度を問うとともに，総合的に分析し考察する能力を試します。 |

| | | |
|---|---|---|
| 医　学　科<br>看 護 学 科 | 外 国 語 | 「英語」の出題範囲は英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ，論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲであり，その範囲内での総合的英語力の達成度を採点・評価の対象とします。総合的英語力とは幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言います。したがって，本学の英語試験はマークシート方式の試験では測ることが難しい総合的な読解力と表現力の達成度を主な採点・評価基準とします。 |
| 看 護 学 科 | 国　　語 | 高等学校学習指導要領（国語）に示された内容を踏まえた総合的な基礎学力を基盤とし，様々な課題の解決に向けて言語活動を創造し，実践することができるような能力を評価します。具体的には，近代以降及び古典の文章等に対して，読解し思考し表現することができる力，また語彙・文字・文法・文学に関する知識等を総合的に評価します。 |
| 看 護 学 科 | 数　　学 | 「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。 |
| 医　学　科 | 面　　接 | 志望理由，学習意欲，理解力，表現力，論理性などを出願書類等を参考に評価します。<br>医学，医療，科学，社会などに対する関心度を評価します。 |
| 看 護 学 科 | 面　　接 | 志望理由，学習意欲，探求心，理解力，表現力，協調性などを評価します。<br>人間，健康，社会，保健・医療・福祉，看護，社会貢献に対する関心度を評価します。 |

## 10　合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 医　　学　　科 | 第１志望の志願枠を優先して選抜します。一般枠と三重県地域医療枠を併願した者で第１志望の志願枠で合格とならなかった場合に第２志望の志願枠での選考の対象となります。<br>同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，個別学力検査の得点が上位の受験者を合格とします。個別学力検査の得点も同点の場合は，その順位の者をすべて合格者とします。<br>面接の評価によっては，総合点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。 |
| 看　護　学　科 | 同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とします。<br>面接の評価によっては，総合点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。 |

## 11　医学部医学科における「三重県地域医療枠」の学生募集について

平成22年度入試より前期日程に「三重県地域医療枠」を設けました。

「三重県地域医療枠」とは，三重県内の地域医療に貢献する明確な意志を持った方を募集する枠です。第１及び第２志望（ただし，専願の場合は第１志望のみ）の志願枠を記載する必要があります。

| | |
|---|---|
| 募 集 人 員 | ５名程度（前期日程募集人員70名に含まれます。） |
| 出 願 資 格 | 出願資格（５ページ参照）に該当する者で，⑴と⑵の条件を満たす者<br>⑴　卒業後は，「三重県地域医療支援センターキャリア形成プログラム」に基づき，三重県の指定する医療機関で９年間勤務し（注１），三重県内での医療・医学の発展とその継続に貢献することを確約できる者<br>入学後は，医学部医学・看護学教育センターの指導・助言を受けて，医学部での地域医療の学習を行います。卒業後は，三重大学医学部附属病院または三重県内の基幹型臨床研修病院での臨床研修プログラムに参加します（注２）。その後，専門医取得を目的として三重大学医学部附属病院群での専門研修プログラムに沿って研修します。<br>⑵　「三重県地域医療枠」の入学者には，「三重県医師修学資金」（注３）の貸与を受けていただくことになります。 |

| | |
|---|---|
| 出 願 手 続 | 三重県地域医療枠での選考を（第１または第２志望に関係なく）志願する場合は，誓約書及び同意書（本学・県所定の用紙）の提出が必要となります。<br>※インターネット出願システム上で「三重県地域医療枠」の希望欄にチェックをしてください。 |
| 選 抜 方 法 | 入学者選抜の実施教科・科目等は前期日程（46～50ページ参照）と同様とします。<br>一般枠と三重県地域医療枠を併願した者は，第１志望の志願枠を優先して選抜し，第１志望の志願枠で合格とならなかった場合に第２志望の志願枠での選考対象となります。 |
| そ の 他 | 出願期間，選抜期日，合格発表日等は，一般枠と同様とします。 |

（注１）医師不足地域での一定期間の勤務を含みます。

（注２）基幹型臨床研修病院とは，臨床研修病院のうち，他の病院又は診療所と共同して臨床研修を行う病院であって，当該臨床研修の全体的な管理・責任を有する病院をいいます。

（注３）三重県医師修学資金は，在学中に貸与を受け，医学部を卒業後に，医師として一定の年数を三重県内の医療機関に勤務することにより貸与額全額の返還が免除されます。詳細については，三重県医療保健部医療人材課の三重県医師修学資金ホームページを参照してください。

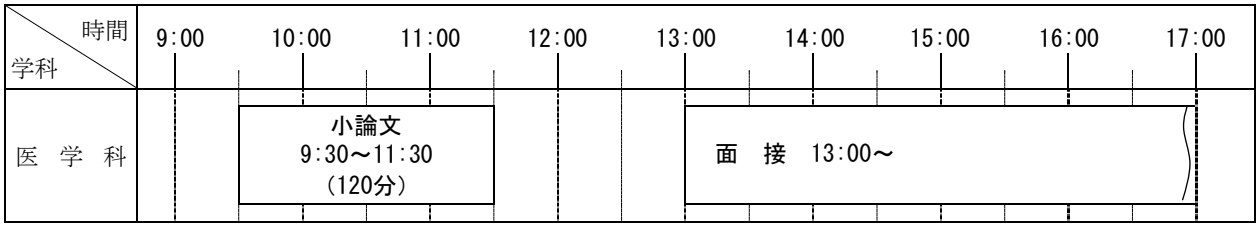
## 〈後 期 日 程〉

### 1　募集人員

| 学　　科 | 募集人員 |
|---|---|
| 医　　学　　科 | １０名 |
| 計 | １０名 |

### 2　試験時間割

【３月12日㈮】




### 3　志望方法

医学科を選び，出願してください。

志望学科は，第１志望のみとします。

### 4　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，**本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません**。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| 学　　科 | 教科 | 科　　目　　名　　等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 医　学　科 | 国 | 国 | |
| | 地歴<br>公民 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」<br>「公，倫」・「公，政経」 } から１ | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 理 | 「物」・「化」・「生」から2 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

### 5　２段階選抜

①　医学部医学科では，志願者数が募集人員に対して次の倍率を超えた場合のみ実施します。
（倍率については，緩和することがあります。）

| 日程／学科 | 前期日程 | 後期日程 |
|---|---|---|
| 医 学 部 医 学 科 | ５倍 | １５倍 |

第１段階選抜は，大学入学共通テストの成績により行い，その合格者を対象に個別学力検査等を実施し，最終的な合格者を決定します。

②　発表方法

**前期日程・後期日程とも２月10日㈬17時頃に**，第１段階選抜合格者は受験票及び受験案内の印刷が可能となります。（詳細は，メールでお知らせします。）合格通知書および不合格通知書の送付は行いません。（第１段階選抜不合格者に対しては，入学検定料（17,000円）のうち13,000円を返還します。入学検定料返還請求に関しては「５.出願手続」の「（６）入学検定料の返還について」を参照して手続きしてください。）

なお，２段階選抜を実施しなかった場合は，前期日程・後期日程とも**２月10日(水)17時頃**に，受験票及び受験案内の印刷が全員可能となります。(詳細は，メールでお知らせします。)

氏名等に間違いがある場合には，学務部入試チームへ連絡してください。

連絡先：ＴＥＬ　０５９－２３１－９０６３

※　２段階選抜実施の有無については，本学受験生応援サイトに掲載します。

## 6　個別学力検査の実施教科・科目等

| 学　科 | 教　科　等 |
|---|---|
| 医　学　科 | 小論文<br>面接 |

教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 7　小論文の出題方針・内容

| 学　科 | 出題方針・内容 |
|---|---|
| 医　学　科 | 人間，健康，医療，生命科学，時事問題などに関わる課題を提示して論述させ，洞察力，論理構成力，表現力などを総合的に評価します。<br>なお，英語の理解力を必要とするものを含みます。 |

## 8　大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| 学　科 | 試験の区分 | 国語 | 地理歴史 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 情報 | 小論文 | 面接 | 配点合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医　学　科 | 共通テスト | 100 | *100 | | 100 | 200 | 100 | 50 | | | 650 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | 200 | 100 | 300 |
| | 計 | 100 | *100 | | 100 | 200 | 100 | 50 | 200 | 100 | 950 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 9　個別学力検査の採点・評価基準

| 学　科 | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 医　学　科 | 小論文 | 人間，健康，医療，生命科学，時事問題などに関わる課題を提示して論述させ，洞察力，論理構成力，表現力などを総合的に評価します。<br>なお，英語の理解力を必要とするものを含みます。 |
| | 面接 | 志望理由，学習意欲，理解力，表現力，論理性などを出願書類等を参考に評価します。<br>医学，医療，科学，社会などに対する関心度を評価します。 |

## 10　合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 医　学　科 | 同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，個別学力検査の得点が上位の受験者を合格とします。個別学力検査の得点も同点の場合は，その順位の者をすべて合格者とします。<br>面接の評価によっては，総合点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。 |

# ４　工　学　部

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

**－このような人を育てます－**

工学部は，科学技術の分野における先端的，創造的な職業能力はもとより，自然，社会，文化等に対する深い見識を育むことを目指して，学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習，実験，卒業研究等，研究室での少人数教育を通して，世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と，社会で活躍するための実践力や表現力を養います。

**－このような人を求めます－**

●自然，社会，文化等に対して幅広い関心が有り，それらの基礎学力を持った人。
●工学を理解するために必要な数学，理科に興味が有り，それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
●自分の考えを的確に表現し，論理的に伝えることができる人。
●工学における問題解決の実践に情熱が有り，社会に貢献しようという気概を持った人。
●工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち，真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。

**－入学者選抜方針－**

●一般選抜前期日程

大学入学共通テストでは国語，地歴・公民，数学，理科，外国語，情報の６教科８科目を課し，これまでに身につけた幅広い基礎学力とその到達度を見ます。さらに個別学力検査では，工学を学ぶ上で不可欠な数学と理科を課し，大学入学共通テストと個別学力検査の総合成績により入学者を選抜します。

●一般選抜後期日程

各コースでは前期日程試験とは異なる観点から，専門性に照らした資質，能力，応用力を見るために個別学力検査を課し入学者を選抜します。検査科目は機械工学コース，電気電子工学コース及び電子情報工学コースでは物理，応用化学コースでは化学，情報工学コースでは小論文，また建築学コースでは立体スケッチと面接で，専門分野への適性，意欲，関心等で評価を加味し，総合的に判断して入学者を選抜します。

―各選抜方法における学力の３要素の評価方法―

工学部では，次表のとおり学力の３要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し，「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

＜工学部　機械工学コース＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持って多様な人々と協働する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 後期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | | |
| | 調査書 | | | | | | （総合判定の参考） |

＜工学部　電気電子工学コース＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持って多様な人々と協働する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 後期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | | |
| | 調査書 | | | | | | （総合判定の参考） |

＜工学部　電子情報工学コース＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ① | | ② | | | ③ |
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 後期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | | |
| | 調査書 | | | | | | （総合判定の参考） |

＜工学部　応用化学コース＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持って多様な人々と協働する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 後期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | | |
| | 調査書 | | | | | | （総合判定の参考） |

＜工学部　建築学コース＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持って多様な人々と協働する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 後期日程 | 立体スケッチ | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 面接 | ○ | | ○ | | ○ | ○ |

＜工学部　情報工学コース＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ① | | ② | | | ③ |
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 後期日程 | 小論文 | ○ | | ○ | | ○ | |
| | 調査書 | | | | | | （総合判定の参考） |

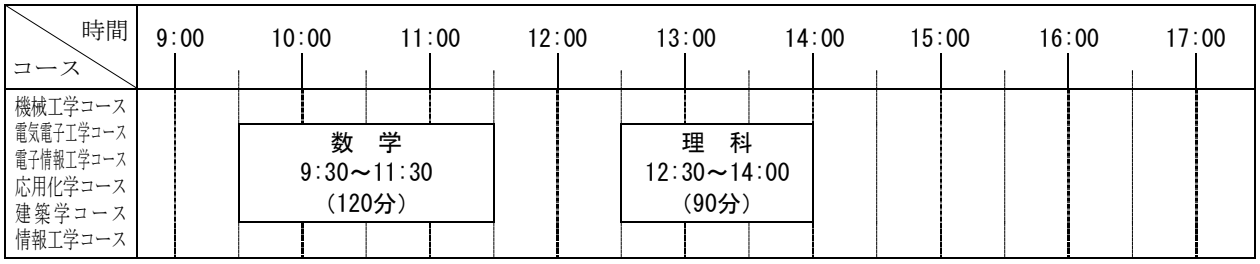
## 〈前 期 日 程〉

### 1　募集人員

| 学科・コース | | 募集人員 |
|---|---|---|
| 総合工学科 | 機械工学コース | ４５名 |
| | 電気電子工学コース | ３２名 |
| | 電子情報工学コース | １８名 |
| | 応用化学コース | ４０名 |
| | 建築学コース | ３４名 |
| | 情報工学コース | ６０名 |
| 計 | | ２２９名 |

### 2　試験時間割

【２月25日(木)】




### 3　志望方法

機械工学コース，電気電子工学コース，電子情報工学コース，応用化学コース，建築学コース，情報工学コースのうちから第２志望まで出願できます。

### 4　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，**本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません**。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| コース | 教科 | 科目名等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 機械工学コース<br>電気電子工学コース<br>電子情報工学コース<br>応用化学コース<br>建築学コース<br>情報工学コース | 国 | 国 | |
| | 地歴 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」 } から１ | |
| | 公民 | 「地総／歴総／公」・「公，倫」・「公，政経」 } | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 理 | 「物」と「化」 | |
| | 外 | 英 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

### 5　個別学力検査の実施教科・科目等

| コース | 教科等 | 科目名等 |
|---|---|---|
| 機械工学コース<br>電気電子工学コース<br>電子情報工学コース<br>応用化学コース<br>建築学コース<br>情報工学コース | 数学 | 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C |
| | 理科 | 「物基・物」，「化基・化」から1 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 6　大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| コース | 試験の区分 | 国語 | 地理歴史 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 情報 | 配点合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 機械工学コース<br>電気電子工学コース<br>電子情報工学コース<br>応用化学コース<br>建築学コース<br>情報工学コース | 共通テスト | 100 | *50 | | 100 | 100 | 250 | 50 | 650 |
| | 個別学力検査 | | | | 350 | 250 | | | 600 |
| | 計 | 100 | *50 | | 450 | 350 | 250 | 50 | 1250 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 7　得点調整

工学部受験者の理科の得点を１００点満点に換算し，各科目（物理，化学）間で２０点以上の平均点差が生じた場合は，工学部受験者を対象として得点調整を行います。なお，得点調整を行った場合，本学受験生応援サイトでお知らせします。

## 8　個別学力検査の採点・評価基準

| コース | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 機械工学コース<br>電気電子工学コース<br>電子情報工学コース<br>応用化学コース<br>建築学コース<br>情報工学コース | 数学 | 「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。 |
| | 理科：物理 | 「物理基礎」・「物理」の学修における達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。 |
| | 理科：化学 | 「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。観察や実験に基づいて化学的な事物・現象を理解する力，化学の基本的な概念や原理・法則を活用して正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力と推察力を評価します。 |

## 9　合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 工学部の基本的な基準 | 上記に基づき，総合得点により，志願者の志望した各コースの上位から順次合格者とします。 |
| コース毎の基準 | Ⅰ総合得点が同点の場合は，個別学力検査の合計点の順位とします。<br>Ⅱ個別学力検査の合計点も同点の場合は，次のとおりとします。<br>・機械工学コース，電気電子工学コース，電子情報工学コース，情報工学コース<br>個別学力検査の数学の得点の順とします。<br>・応用化学コース<br>個別学力検査の理科の得点の順とします。<br>・建築学コース<br>大学入学共通テストの外国語の得点の順とします。 |

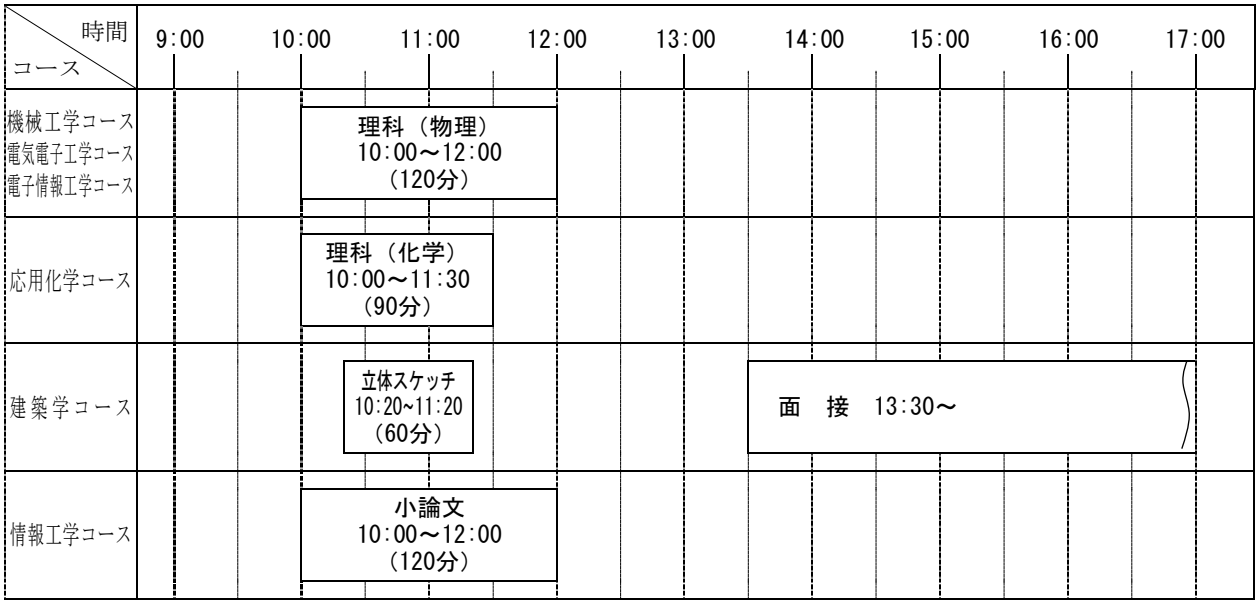
## 〈後 期 日 程〉

### 1　募集人員

| 学科・コース | | 募集人員 |
|---|---|---|
| 総合工学科 | 機械工学コース | ２０名 |
| | 電気電子工学コース | ２５名 |
| | 電子情報工学コース | １４名 |
| | 応用化学コース | ４６名 |
| | 建築学コース | １０名 |
| | 情報工学コース | ２５名 |
| 計 | | １４０名 |

### 2　試験時間割

【３月12日㈮】




### 3　志望方法

機械工学コース，応用化学コース，建築学コース，情報工学コースの４コースについては１つのコースを選び，出願してください。これらのコースは，第１志望のみとします。

電気電子工学コース及び電子情報工学コースは，相互に第２志望を選び出願することができます。

（第１志望を電気電子工学コース，第２志望を電子情報工学コース，或いはその逆の志望順位での出願が可能）

### 4　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，<u>本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません</u>。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| コース | 教科 | 科目名等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 機械工学コース<br>電気電子工学コース<br>電子情報工学コース<br>応用化学コース<br>建築学コース<br>情報工学コース | 国 | 国 | |
| | 地歴<br>公民 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」<br>「地総／歴総／公」・「公，倫」・「公，政経」 } から１ | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 理 | 「物」と「化」 | |
| | 外 | 英 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## ５　個別学力検査の実施教科・科目等

| コース | 教科等 | 科目名等 |
|---|---|---|
| 機械工学コース<br>電気電子工学コース<br>電子情報工学コース | 理　科 | 物基・物 |
| | 調査書 | |
| 応用化学コース | 理　科 | 化基・化 |
| | 調査書 | |
| 建築学コース | 実　技 | 立体スケッチ |
| | 面　接 | |
| 情報工学コース | 小論文 | |
| | 調査書 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## ６　大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| コース | 試験の区分 | 国語 | 地理歴史 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 情報 | 小論文 | 実技 | 面接 | 調査書等 | 配点合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 機械工学コース | 共通テスト | 100 | *50 | | 200 | 100 | 200 | 50 | | | | | 700 |
| | 個別学力検査 | | | | | 350 | | | | | | (♯3) | (♯3)<br>350 |
| | 計 | 100 | *50 | | 200 | 450 | 200 | 50 | | | | (♯3) | (♯3)<br>1050 |
| 電気電子工学コース<br>電子情報工学コース | 共通テスト | 100 | *50 | | 300 | 100 | 250 | 50 | | | | | 850 |
| | 個別学力検査 | | | | | 450 | | | | | | (♯3) | (♯3)<br>450 |
| | 計 | 100 | *50 | | 300 | 550 | 250 | 50 | | | | (♯3) | (♯3)<br>1300 |
| 応用化学コース | 共通テスト | 50 | *50 | | 100 | 100 | 125 | 50 | | | | | 475 |
| | 個別学力検査 | | | | | 400 | | | | | | (♯3) | (♯3)<br>400 |
| | 計 | 50 | *50 | | 100 | 500 | 125 | 50 | | | | (♯3) | (♯3)<br>875 |
| 建築学コース | 共通テスト | 100 | *50 | | 200 | 100 | 200 | 50 | | | | | 700 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | | (♯4) | (♯5) | | (♯4) (♯5) |
| | 計 | 100 | *50 | | 200 | 100 | 200 | 50 | | (♯4) | (♯5) | | (♯4) (♯5)<br>700 |
| 情報工学コース | 共通テスト | 100 | *50 | | 200 | 200 | 200 | 100 | | | | | 850 |
| | 個別学力検査 | | | | | | | | 200 | | | (♯3) | (♯3)<br>200 |
| | 計 | 100 | *50 | | 200 | 200 | 200 | 100 | 200 | | | (♯3) | (♯3)<br>1050 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 7　個別学力検査の採点・評価基準

| コ　ー　ス | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 情 報 工 学 コ ー ス | 小論文 | 設問に対する読解力，小論文における論理性，客観性，明確性，一貫性，ならびに文章構成を採点・評価の対象とします。具体的には，工学者の基礎を成す国際社会や科学技術に対する知識や考えを問うことによって，その理解力，思考力，洞察力，俯瞰力を総合的に評価します。 |
| 機 械 工 学 コ ー ス<br>電気電子工学コース<br>電子情報工学コース | 物　理 | 「物理基礎」・「物理」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。 |
| 応 用 化 学 コ ー ス | 化　学 | 「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，化学的な事物・現象に関する知識および概念や原理・法則が系統的かつ本質的に理解できているかを問います。<br>また，化学の基本となる概念や原理・法則を活用する力を問います。これらによって，化学的な事物・現象を分析，総合的に考察し，論理的に記述し，起こり得る変化を予測し，新しい事象の解釈へ応用する能力が身についているかを総合的に評価します。 |
| 建 築 学 コ ー ス | 立体スケッチ | 配付した立体模型を構成・描画させ，立体の構成力，画面の構成力，立体の観察力，立体の表現力，集中力・クラフトマンシップの５項目について評価します。<br>「注」問題例，評価基準等については，61～62ページを参照 |
| | 面　接 | 学習への意欲，建築への姿勢，意思疎通能力，人物・資質の４項目につき試問の上，評価します。 |
| 機 械 工 学 コ ー ス<br>電気電子工学コース<br>電子情報工学コース<br>情 報 工 学 コ ー ス<br>応 用 化 学 コ ー ス | 調査書 | 各コースの合否ラインに同点で並んだ場合，調査書を総合的に評価し順位をつけます。 |

## 8　合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 工学部の基本的な基準 | 上記に基づき，総合得点により，志願者の志望した各コースの上位から順次合格者とします。 |

| | |
|---|---|
| コース毎の基準 | 【建築学コース以外の各コース】<br>　各コースの合否ライン上以外で総合得点が同点の場合は，個別学力検査の得点の順位とします。個別学力検査の得点も同点の場合は，次のとおりとします。<br>・機械工学コース，電気電子工学コース，電子情報工学コース，情報工学コースは，大学入学共通テストの数学の得点順とします。<br>・応用化学コースは，大学入学共通テストの外国語の得点順とします。<br>・ただし，各コースの合否ライン上で総合得点が同点の場合は，「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」について，調査書の「総合的な探究の時間の記録」，「特別活動の記録」，「指導上参考となる諸事情」（調査書が提出できない志願者においては，工学部所定の様式書類の当該箇所）を総合的に評価して順位を決定します。前述の順位についても同点の場合は，個別学力検査の得点の順位で合格者を決定します。<br>【建築学コース】<br>「面接」<br>　面接の合計得点の得点率30%以上の受験者を立体スケッチ及び大学入学共通テストの成績による合否判定の対象とします。<br>「立体スケッチ」<br>　採点・評価基準の５項目（各１点満点）の合計が４点以上の受験者を面接及び大学入学共通テストの成績による合否判定の対象とします。<br>　上記２点及び大学入学共通テストの点数を踏まえ，総合得点が同点の場合，大学入学共通テストの外国語の得点順とします。 |

## ９　建築学コース「立体スケッチ」の問題例，評価基準について

問題例

> 1）配付された立体模型は，ひとつの正四角柱を大・小に分割したものです。この二体を机の上で自由に組み合わせて配置し，バランスのよい美しい構成をつくりなさい。二体は接触していても，していなくてもかまいません。
> 2）1）で出来上がった形を解答用紙に鉛筆で描画しなさい。二体の模型の全体を描くこと。陰影や背景などによって立体感をつけること。用紙（Ａ４判）は縦長に使っても横長に使ってもかまいません。

評価基準

以下の５つの評価項目について，それぞれ０点または１点で評価し，合計４点以上を面接及び大学入学共通テストの成績による合否判定の対象とします。

① 立体の構成力

二体がバラバラで無関係な配置のもの，元の一体の正四角柱のままのもの（構成放棄），重力空間において非現実的ないし不安定なものは，低く評価します。

② 画面の構成力

紙面の一部だけに小さく描いたもの，紙面から大幅にはみ出したもの，ひとつの立体にもうひとつの立体がほとんど隠れてしまっているものは，低く評価します。

③ 立体の観察力

比例が大幅に崩れて（扁平，細長すぎるなど）いるもの，基盤面の平面性が失われているものは，低く評価します。

④ 立体の表現力

陰影などを利用して立体感を出そうと試みていないもの，陰影が相互におおきく矛盾しているものは，低く評価します。

⑤ 集中力，クラフトマンシップ

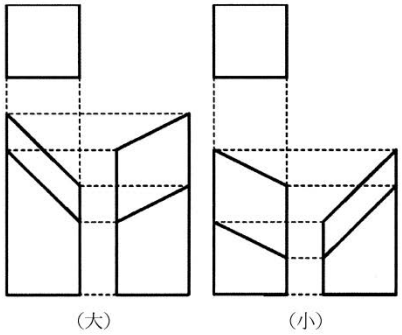
試験時間をフル活用して精密な作品を懸命に仕上げようとしていないもの，試験時間に対して描画内容が僅少・貧弱なもの，筆致が乱雑なもの，重要部分を消すなど能力隠蔽の痕跡があるものは，低く評価します。

「注」

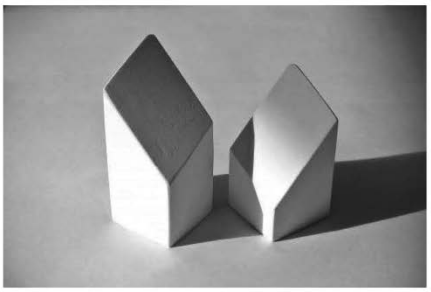
１．問題例は例示であり，このとおり出題されるとは限りません。

２．描画用具は黒鉛筆（２Ｂ～６Ｂ），消しゴム（練り消しゴムを含む），鉛筆削りとします。なお，描画用具は，試験当日各自で必ず持参してください。

３．立体模型は，ひとつの正四角柱（正方形底面の１辺の長さ40㎜，高さ120㎜）を大・小に分割したものです。次に示すのはその一例です。検査では正四角柱の切断面が異なる数種の模型をランダムに配付します。模型には製作上のわずかな個体差があります。




立体模型の三面図の一例



立体模型の写真

# ５　生物資源学部

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

**－このような人を育てます－**

生物資源学部は，地域に根ざした視点に立ちながらも国際的な視野をもち，自然との共存を図りつつ生物資源の適正な開発・利用と保全を追求するための科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことを目指しています。そのために，自然科学分野の基礎知識だけでなく農林水産学，環境科学，生命科学の各分野における専門知識を身に付けることにより，独創性と広い視野を持ち，地域社会だけではなく国際社会にも貢献できる人材の育成を目標にしています。

**－このような人を求めます－**

●高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し，高校卒業レベルの知識を有する人。
●農林水産学を対象とした専門高校において専門科目を深く学び，優れた成績を修めた人。
●入学後の修学に必要な基礎学力としての知識ならびに理解能力を有している人。
●生命科学や農林水産学に関わる様々な現象に関心を持ち，生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
●自然と人が共生する持続的社会の創出を目指し，社会貢献に対する明確な目的意識を有する人。

**－入学者選抜方針－**

●一般選抜前期日程

生物資源の適正な開発・利用と保全を学ぶために必要とされる幅広い基礎学力と語学力に加え，理数系の能力を見るために，大学入学共通テスト（６教科８科目）と個別学力検査（数学と理科）により選抜します。

●一般選抜後期日程

生物資源の適正な開発・利用と保全を学ぶために必要とされる幅広い基礎学力と英語力に加え，理数系の能力を見るために，大学入学共通テスト（６教科８科目）を課すほか，大学入学後の学修への関心・意欲等を総合的に判断するため，ペーパーインタビュー（面接に代わる筆記試験）を併せて実施し選抜します。

―各選抜方法における学力の３要素の評価方法―

生物資源学部では，次表のとおり学力の３要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示しています。

＜生物資源学部＞

| 選抜方法等 | | 学力の３要素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ① | | ② | | | ③ |
| | | 知識 | 技能 | 思考力 | 判断力 | 表現力 | 主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度 |
| 大学入学共通テスト | | ○ | | ○ | | | |
| 前期日程 | 個別学力検査 | ○ | | ○ | | | |
| 後期日程 | ペーパーインタビュー | | | | | ○ | ○ |

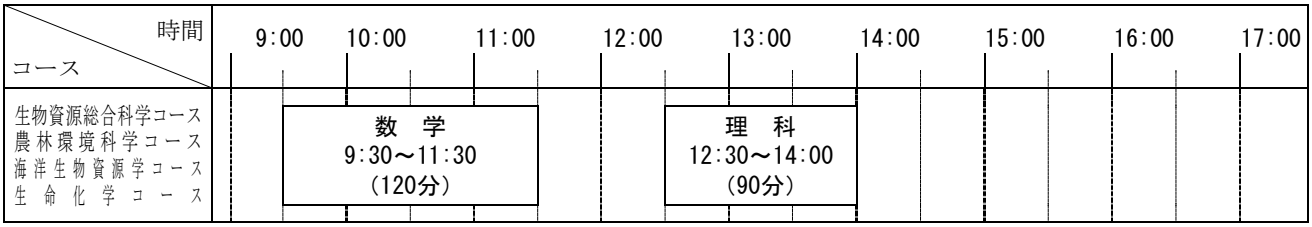
## 〈前 期 日 程〉

### 1　募集人員

| 学 科 ・ コ ー ス | | 募集人員 |
|---|---|---|
| 生物資源学科 | 生物資源総合科学コース | １５名 |
| | 農 林 環 境 科 学 コ ー ス | ５３名 |
| | 海洋生物資源学コース | ２５名 |
| | 生 命 化 学 コ ー ス | ４１名 |
| 計 | | １３４名 |

### 2　試験時間割

【２月25日㈭】




### 3　志望方法

生物資源総合科学コース，農林環境科学コース，海洋生物資源学コース，生命化学コースの４コースのうちから第３志望まで出願できます。ただし，生物資源総合科学コースを第２・３志望とすることはできません。（生物資源総合科学コースを第１志望として，他の３コースを第２・３志望とすることはできます。）

### 4　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，**本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません**。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| コ ー ス | 教科 | 科 目 名 等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 生物資源総合科学コース<br>農 林 環 境 科 学 コ ー ス<br>海洋生物資源学コース<br>生 命 化 学 コ ー ス | 国 | 国 | |
| | 地歴<br>公民 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」<br>「地総／歴総／公」・「公，倫」・「公，政経」 } から１ | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 理 | 「物」・「化」・「生」・「地」から2 | |
| | 外 | 「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

### 5　個別学力検査の実施教科・科目等

| コ ー ス | 教科 | 科 目 名 等 |
|---|---|---|
| 生物資源総合科学コース<br>農 林 環 境 科 学 コ ー ス<br>海洋生物資源学コース<br>生 命 化 学 コ ー ス | 数学 | 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は<br>「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」 |
| | 理科 | 「物基，物」・「化基，化」・「生基，生」から1 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 6　大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| コース | 試験の区分 | 国語 | 地理歴史 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 情報 | 配点合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生物資源総合科学コース<br>農林環境科学コース<br>海洋生物資源学コース<br>生命化学コース | 共通テスト | 100 | *100 | | 300 | 300 | 400 | 50 | 1250 |
| | 個別学力検査 | | | | 250 | 250 | | | 500 |
| | 計 | 100 | *100 | | 550 | 550 | 400 | 50 | 1750 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 7　得点調整

理科を課している全学部受験者の理科の得点を１００点満点に換算し，各科目（物理，化学，生物）間で２０点以上の平均点差が生じた場合は，生物資源学部受験者を対象として得点調整を行います。なお，得点調整を行った場合は，本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。

## 8　個別学力検査の採点・評価基準

| コース | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 生物資源総合科学コース<br>農林環境科学コース<br>海洋生物資源学コース<br>生命化学コース | 数学 | 「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」もしくは「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。 |
| | 理科：物理 | 「物理基礎」・「物理」の学修における達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。 |
| | 理科：化学 | 「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。観察や実験に基づいて化学的な事物・現象を理解する力，化学の基本的な概念や原理・法則を活用して正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力と推察力を評価します。 |
| | 理科：生物 | 「生物基礎」・「生物」の基礎学力の達成度および理解度を採点・評価の対象とします。生物及び生命現象の特徴を深く理解するには，それらを遺伝子，細胞，組織，個体および群集レベルでとらえ，分類学，生態学，生理学，発生学，生化学，遺伝学，分子生物学に基づいた思考力を必要とします。それらの基礎的な概念の理解力を問うとともに，総合的に分析し考察する能力を試します。 |

## 9　合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 生物資源学部 | 同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とします。<br>各コースの合格者は，募集人員の７割を第１志望から成績順に選考します。<br>残りの合格者は，第１志望から第３志望を合わせた受験者の中から成績順に選考します。 |

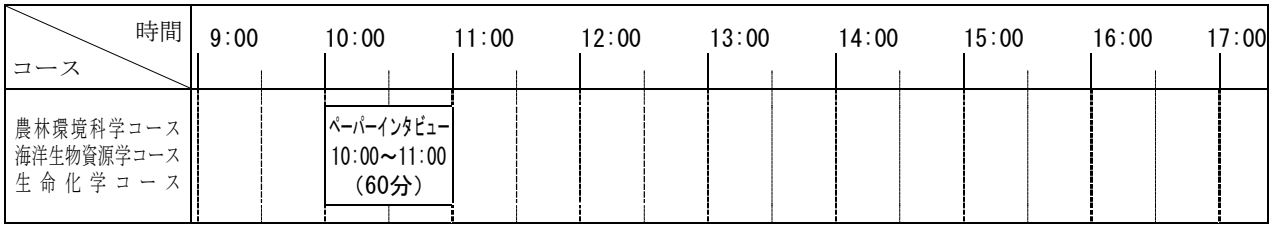
## 〈後 期 日 程〉

### 1 募集人員

| 学 科 ・ コ ー ス | | 募集人員 |
|---|---|---|
| 生物資源学科 | 農林環境科学コース | ２８名 |
| | 海洋生物資源学コース | １０名 |
| | 生 命 化 学 コ ー ス | １０名 |
| 計 | | ４８名 |

### 2 試験時間割

【３月12日㈮】




### 3 志望方法

農林環境科学コース，海洋生物資源学コース，生命化学コースの３コースのうちから第３志望まで出願できます。

### 4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和９年度大学入学共通テストにおいて，**本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません**。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

| コ ー ス | 教科 | 科 目 名 等 | 確認 |
|---|---|---|---|
| 農林環境科学コース<br>海洋生物資源学コース<br>生 命 化 学 コ ー ス | 国 | 国 | |
| | 地歴 | 「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」<br>「地総／歴総／公」・「公，倫」・「公，政経」 } から１ | |
| | 公民 | | |
| | 数 | 「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」 | |
| | 理 | 「物」・「化」・「生」・「地」から2 | |
| | 外 | 英 | |
| | 情 | 情 | |
| | | 〔６教科８科目〕 | |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

### 5 個別学力検査の実施教科・科目等

| コ ー ス | 教科等 |
|---|---|
| 農林環境科学コース<br>海洋生物資源学コース<br>生 命 化 学 コ ー ス | ペーパーインタビュー |

## 6 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

| コース | 試験の区分 | 国語 | 地理歴史 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 情報 | ペーパーインタビュー | 配点合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 農林環境科学コース | 共通テスト | 100 | *50 | | 200 | 200 | 200 | 50 | | 800 |
| 海洋生物資源学コース | 個別学力検査 | | | | | | | | 100 | 100 |
| 生命化学コース | 計 | 100 | *50 | | 200 | 200 | 200 | 50 | 100 | 900 |

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：68～69ページ参照

## 7 ペーパーインタビューの出題方針・内容

| コース | 出題方針・内容 |
|---|---|
| 農林環境科学コース<br>海洋生物資源学コース<br>生命化学コース | 主体性・多様性・協働性を多面的・総合的に評価するため，志望理由や学修への意欲等を問う記述試験を行います。 |

## 8 個別学力検査の採点・評価基準

| コース | 試験教科等 | 採点・評価基準（一般的基準）等 |
|---|---|---|
| 農林環境科学コース<br>海洋生物資源学コース<br>生命化学コース | ペーパーインタビュー | 大学入学後の学修への関心・意欲等が確認できる課題を提示して記述させ，主体性・多様性・協働性を多面的・総合的に評価します。 |

## 9 合否判定基準

| | |
|---|---|
| 全学部の基本的な基準 | 大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。 |
| 生物資源学部 | 同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とします。<br>各コースの合格者は，募集人員の７割を第１志望から成績順に選考します。<br>残りの合格者は，第１志望から第３志望を合わせた受験者の中から成績順に選考します。 |

# ６　大学入学共通テスト，個別学力検査の利用教科・科目，配点等に関する注意事項

**【教科・科目名の表記について】**

１．大学入学共通テストの出題教科・科目名は，次のように示しています。

○国語→国

「国語」→「国」

○地理歴史→地歴

「地理総合，地理探究」→「地総，地探」,「歴史総合，日本史探究」→「歴総，日探」,

「歴史総合，世界史探究」→「歴総，世探」,「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」

○公民→公民

「公共、倫理」→「公・倫」,「公共、政治・経済」→「公・政経」,

(「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」)

○数学→数

「数学Ⅰ，数学A」→「数Ⅰ，数A」,「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」,

「数学Ⅱ，数学B，数学C」→「数Ⅱ，数B，数C」

○理科→理

「物理基礎」→「物基」,「化学基礎」→「化基」,「生物基礎」→「生基」,「地学基礎」→「地基」,

「物理」→「物」,「化学」→「化」,「生物」→「生」,「地学」→「地」

○外国語→外

「英語」→「英」,「ドイツ語」→「独」,「フランス語」→「仏」,「中国語」→「中」,「韓国語」→「韓」

○情報→情

「情報Ⅰ」→「情」

２．個別学力検査の出題教科・科目名は，上記１によるほか，次のように略しています。

○「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」,「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」,「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」,「数学A」→「数A」,

「数学B」→「数B」,「数学C」→「数C」

○「物理基礎」→「物基」,「化学基礎」→「化基」,「生物基礎」→「生基」,「物理」→「物」,

「化学」→「化」,「生物」→「生」

**【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄**

（１～３は，各学部共通事項を示す。内①は人文学部，②は教育学部の該当事項を示す。）

１．指定の教科・科目数を超えて受験した場合には，高得点の教科・科目の得点を採用します。

ただし,『「地理歴史」「公民」』及び「理科」において複数科目を受験した場合は,『「地理歴史」「公民」』及び「理科」それぞれの第１解答科目の得点を採用の対象とします。

「理科」（基礎を付した科目）は，２科目を受験した場合のみ当該科目の成績として採用します。

「理科」において２科目受験した場合には第１解答科目の得点を採用の対象とします。

第２解答科目については，第１解答科目が採用された場合についてのみ当該科目の得点として採用の対象となる場合があります。

① 人文学部法律経済学科において,『「地理歴史」「公民」』から２科目,「理科」から２科目受験した場合『「地理歴史」「公民」』及び「理科」それぞれの第１解答科目を採用した後，第２解答科目は高得点の科目の得点を採用します。

② 教育学部において,『「地理歴史」「公民」』から２科目,「理科（基礎を付していない科目)」から２科目受験した場合

『「地理歴史」「公民」』及び「理科」それぞれの第１解答科目を採用した後，第２解答科目は高得点の科目の得点を採用します。

２.『「地理歴史」及び「公民」』では同一名称を含む科目の組合せで２科目を選択することはできません。

人文学部法律経済学科において,「理科」から２科目受験した場合には，同一名称を含む科目の組合せで２科目を選択することはできません。

３．大学入学共通テスト「英語」はリスニングが必須となっていますので，リスニングを受験しなければ，本学への出願資格がなくなります。（受験上の配慮によりリスニングを免除された場合を除きます。）

また，「英語」の得点については，以下のとおり取り扱います。

⑴　大学入試センターから提供されたリーディングの成績（100点満点）を２倍して200点満点とし，リスニングの成績（100点満点）とを合わせて300点満点としてから，2/3を掛けて200点満点に換算します。

⑵　⑴で換算した得点を，学部・学科・コースが定めた配点にさらに換算します。

⑶　「英語」以外の外国語（ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語）は，大学入試センターから提供された成績（200点満点）を，学部・学科・コースが定めた配点に換算します。

なお，受験上の配慮事項によりリスニングを免除された者については，リーディングの成績（100点）を２倍して200点満点としてから各学部・学科等が定める配点に換算します。

**【個別学力検査等】欄**

１．「数学」の出題範囲について

「数学Ａ」については，全範囲から出題します。

「数学Ｂ」については，「数列」及び「統計的な推測」を出題範囲とします。

『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ』の中の「数学Ｃ」については，「ベクトル」を出題範囲とします。

『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ』の中の「数学Ｃ」については，「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

２．「理科」の出題範囲について

「物理基礎・物理」は，『物理基礎，物理』の全範囲から出題します。

「化学基礎・化学」は，『化学基礎，化学』の全範囲から出題します。

「生物基礎・生物」は，『生物基礎，生物』の全範囲から出題します。

**【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄**

１．配点に，＊印を付してある教科は選択教科を示します。

２．個別学力検査配点欄の＃１の「教員志望確認書」を総合評価として利用します。

３．大学入学共通テストの利用科目名等欄の＃２の「物基/化基/生基/地基」を選択する場合は，地学基礎を除く「物理基礎/化学基礎/生物基礎」から２つを選択してください。

４．個別学力検査配点欄の＃３の「調査書」は，各学科又はコースの合否ラインに同点で並んだ場合，総合的に評価し順位をつけます。

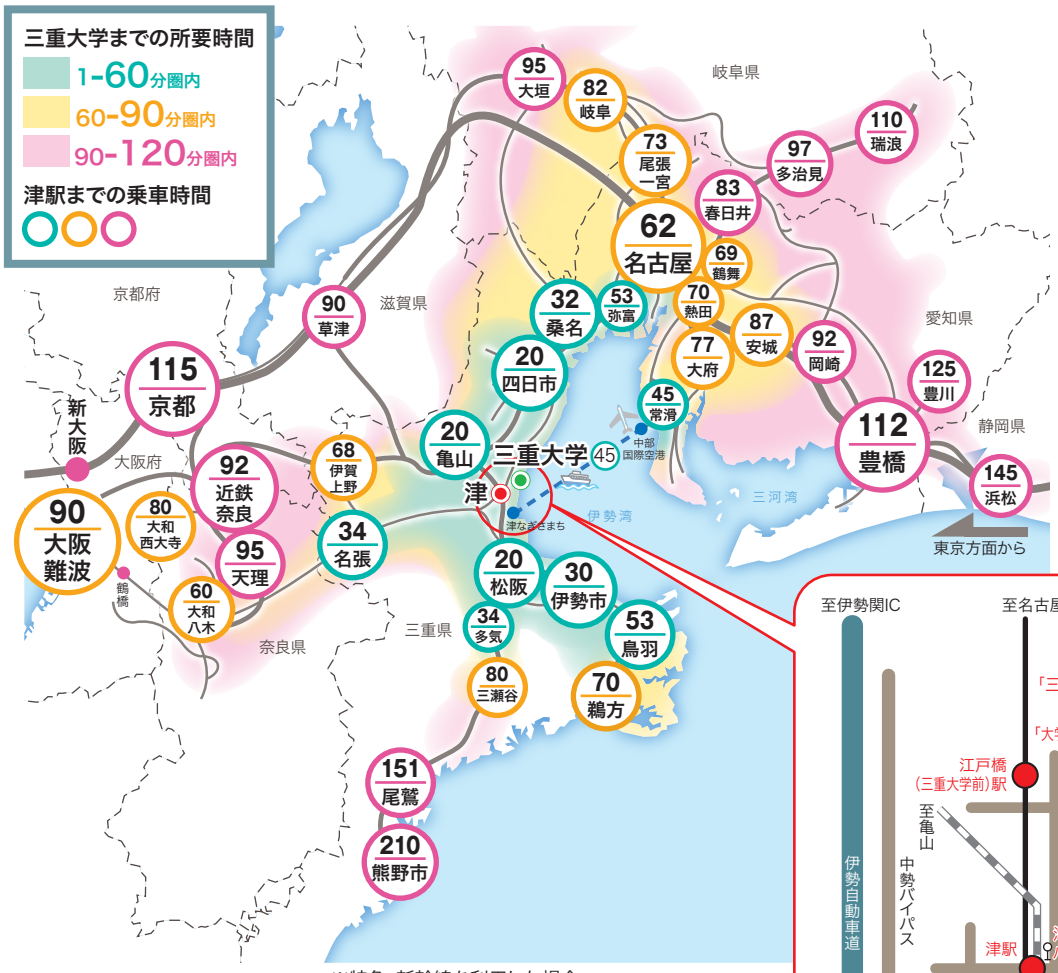
５．個別学力検査配点欄の＃４の「立体スケッチ」は，あらかじめ定めた基準以上の者を合否判定の対象とします。

６．個別学力検査配点欄の＃５の「面接」は，あらかじめ定めた基準以上の者を合否判定の対象とします。

**【３月28日現在で欠員のある場合】**

欠員補充のための第２次募集を実施する場合があります。

# 三重大学へのアクセス




※特急・新幹線を利用した場合


「三重大学前」バス停


江戸橋（三重大学前）駅


津駅



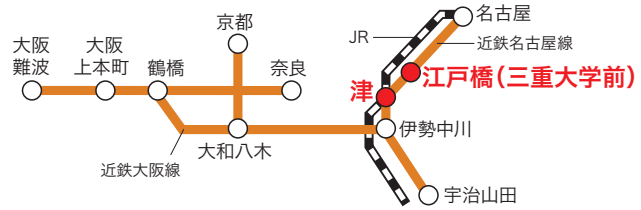

## 交通案内

### ●東京方面から

JR「新幹線のぞみ」で

東京より　JR東京駅　約100分　JR名古屋駅　JR名古屋駅からはJR、近鉄とも利用出来ます。

### ●名古屋、大阪、京都方面から




**近鉄電車「急行」で**

名古屋より　近鉄名古屋駅　約60分
京都・大阪より　伊勢中川駅　約15分
→ 江戸橋駅　徒歩 約15分 → 三重大学

**近鉄電車「特急」で**

名古屋より　近鉄名古屋駅　約50分
大阪より　大阪難波駅　約90分
京都より　京都駅　約110分
→ 津駅　バス 約15分 / タクシー 約10分 → 三重大学

**JR「快速みえ」で**

名古屋より　JR名古屋駅　約50分

## 周辺交通案内

### ●江戸橋（三重大学前）駅から

徒歩約15分

### ●津駅から

1.バスで約15分
三重交通バス津駅東口「4番」のりばより「白塚駅」（06系統）、「三重病院」（51系統）、「椋本（むくもと）」（52系統）、「豊が丘」（52系統）、「サイエンスシティ」（52系統）、「東豊野」（53系統）「高田高校前」（56系統）行きに乗車、「三重大学前」下車。
（附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車）
2. タクシーで約10分

### ●中部国際空港（セントレア）から

津エアポートライン（船）で津なぎさまちへ45分
1.「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
2.「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

本学の最新情報等はこちらをご覧ください
**https://www.mie-u.ac.jp**

## 三重大学への各種問い合わせは下記により行ってください。

問い合わせ時間等　　月曜日から金曜日（祝日は除きます。）
８時３０分から１７時１５分まで

**〇入学試験に関すること**
三重大学学務部入試チーム　　ＴＥＬ　０５９－２３１－９０６３
E-mail　nyusiteam@ab.mie-u.ac.jp
（入学試験に関する問い合わせは，原則として志願者本人が行ってください。）

**〇授業科目・学修に関すること**
三重大学各学部学務担当
人文学部　　ＴＥＬ　０５９－２３１－９１９７
教育学部　　ＴＥＬ　０５９－２３１－９３１９
医学部医学科　　ＴＥＬ　０５９－２３１－５０６３
医学部看護学科　　ＴＥＬ　０５９－２３１－５２３９
工学部　　ＴＥＬ　０５９－２３１－９４６９
生物資源学部　　ＴＥＬ　０５９－２３１－９６３１

**〇奨学金（日本学生支援機構等）に関すること**
三重大学学務部学生支援チーム　　ＴＥＬ　０５９－２３１－９０６１

**〇入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること**
三重大学学務部学生支援チーム　　ＴＥＬ　０５９－２３１－９６７８

**〇学生寮に関すること**
三重大学学務部学生支援チーム　　ＴＥＬ　０５９－２３１－５３７１

**〇就職に関すること**
三重大学学務部キャリア支援チーム　　ＴＥＬ　０５９－２３１－９６５４

**〇入学料及び授業料納付に関すること**
三重大学財務部財務企画チーム　　ＴＥＬ　０５９－２３１－９０２８

**〇三重県医師修学資金に関すること**
三重大学医学・病院管理部
学務課学務第一係　　ＴＥＬ　０５９－２３１－５０６３
三重県医療保健部医療人材課　　ＴＥＬ　０５９－２２４－２３２６
〈URL〉 https://www.pref.mie.lg.jp/IRYOS/HP/oinainet/59773042627.htm


三重大学学務部入試チーム
〒５１４－８５０７
津市栗真町屋町１５７７
ＴＥＬ　０５９－２３１－９０６３
ＦＡＸ　０５９－２３１－５３８２


本学受験生応援サイトをご覧ください。
〈URL〉 https://www.jukensei.mie-u.ac.jp/